

川西市参画と協働のまちづくりに関する
NPO 法人、市民公益活動団体アンケート調査
報告書

令和4年12月
川西市



川西市参画と協働のまちづくりに関する NPO 法人、市民公益活動団体調査報告書

目 次

I 調査の概要	1
1. 調査目的	1
2. 実施概要	1
3. 回収状況	1
4. 調査内容	2
5. 報告書の見かた	2
II 調査結果	3
1 団体の概要について	3
2. 活動内容について	7
3. 市との協働について	26
4. 地域や他の活動団体との関わりについて	31
5. 川西市市民活動センターについて	39
自由記述	41
III まとめ	42
1. 団体概要について	42
2. 活動内容について	42
3. 市との協働について	42
4. 地域や他の活動団体との関わりについて	42
5. 川西市市民活動センターについて	42

調査票 (NPO 法人)

調査票 (市民公益活動団体)

I 調査の概要

1. 調査目的

市内のNPO法人や市民公益活動団体の実態や課題、参画と協働に関する意識、市政・地域への関心などを把握し、今後の参画と協働のまちづくりの推進施策に反映するための基礎資料を得ることを目的として実施しました。

2. 実施概要

調査期間 令和4年8月4日(木)~8月16日(火)
調査対象 市内のNPO法人及び市民公益活動団体
調査方法 配布郵送(市民活動センター登録グループは、パレットかわにしに設置)
回答(郵送又はオンライン)

3. 回収状況

	NPO法人	市民公益活動団体	市民アンケート(参考)
配布数	185		2000
	39	※146	
不着・無効数	3	0	5
有効配布数	36	146	1995
有効回収数	17 (郵送11、ネット6)	71 (郵送48、ネット23)	825 (郵送553、ネット269)
回収率	47.2%	48.6%	41.4%

※市民公益活動団体(146団体の内訳)

市民活動センター利用登録グループ(NPO法人を除く) 47団体
男女共同センター利用登録グループ 47団体
川西市ボランティア活動センター登録グループ 52団体

4. 調査内容

1 団体の概要 について	問1 活動年数を教えてください
	問2 会員数を教えてください
	★問3 予算規模(令和3年度実績)を教えてください
	問4 活動資金をどのように確保されていますか
2 活動内容について	★問5 活動分野を教えてください
	問6 具体的な活動内容を教えてください
	問7 今後の活動内容についてどのようにお考えですか
	問8 活動を行う中で困っていることや課題と考えていることはどのようなことですか
	問9 問8で回答していただいた中で特に行政からの支援が必要と考えるものを3つまで上げてそれについて詳しく教えてください
3 市との協働について	問10 市と協働したことがある、あるいは市と協働で実施している活動はありますか
	問11 それはどのような活動ですか
	問12 市と協働されて、良かった点があれば教えてください
	問13 市と協働されて、難しかった点があれば教えてください
	問14 今後市と協働を行っていききたい(行ったことがある場合を含めて)ですか
4 地域や他の活動団体との 関わりについて	問15 一緒に活動や交流している団体を教えてください
	問16 それはどのような活動や交流ですか
	問17 地域や他の活動団体と一緒に活動や交流されて良かった点があれば教えてください
	問18 地域や他の活動団体と一緒に活動や交流されて難しかった点があれば教えてください
	問19 今後、地域や他の活動団体と一緒に活動や交流していききたい(行ったことがある場合を含めて)ですか
5 川西市 市民活動センターについて	問20 川西市市民活動センターを知っていましたか
	問21 川西市市民活動センターで利用したことがある(利用してみたい)のはどのようなものですか

★マークはNPO法人のみへの質問

5. 報告書の見かた

調査結果について

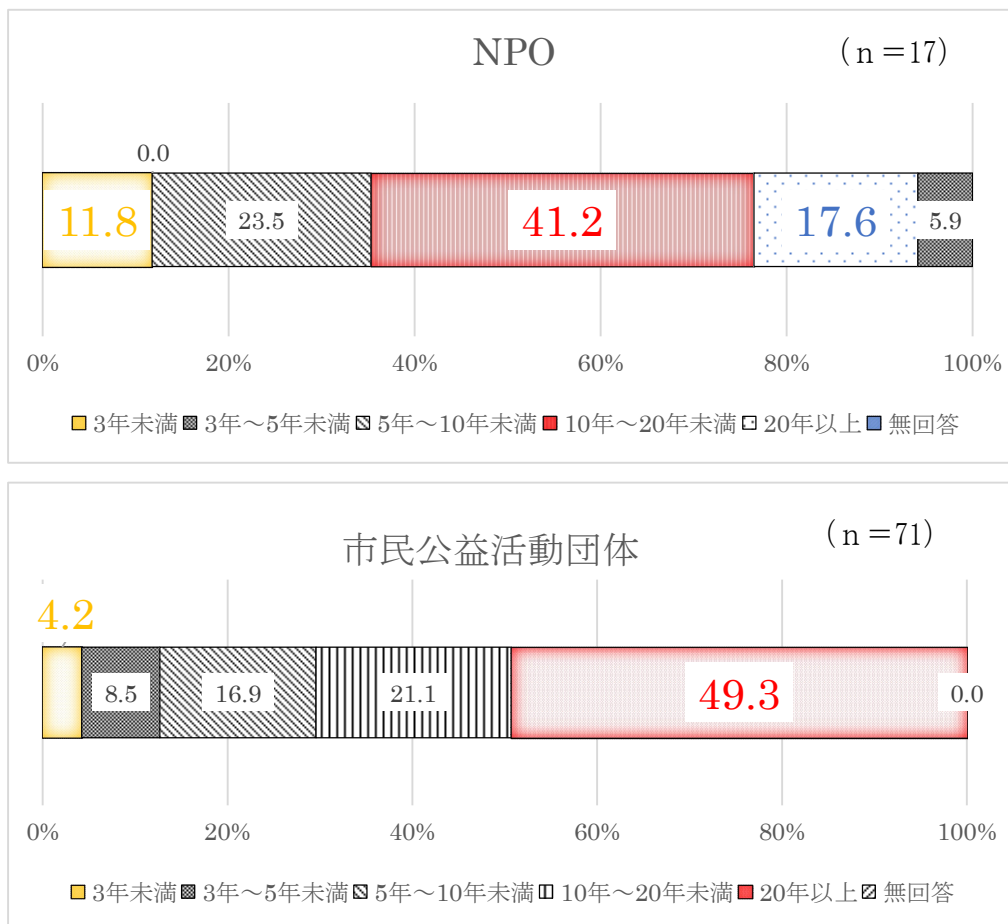
- (1) グラフ内の数字は特記のない限り、百分比(%)です。
- (2) 集計の百分比(%)は、小数点以下第2位を四捨五入して算出しています。このため、択一設問の場合は百分比の合計値が100.0にならないことがあります。
- (3) 複数回答の場合は、百分比の合計が100を超えることがあります。
- (4) 「n=0」は、100%に対応する回答数(基数)です。
- (5) 選択肢の文言は、図表中では簡略化している場合があります。

II 調査結果

1 団体の概要について

問1 活動年数を教えてください。(〇は1つ)

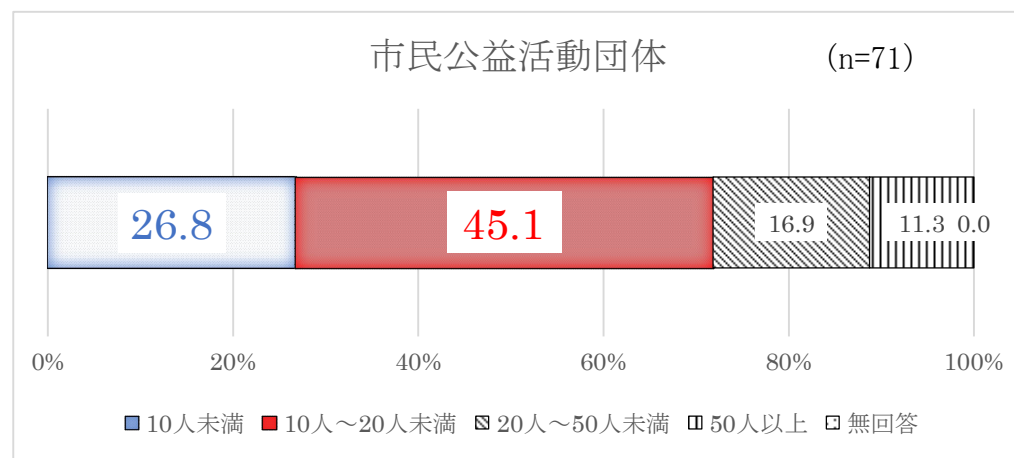
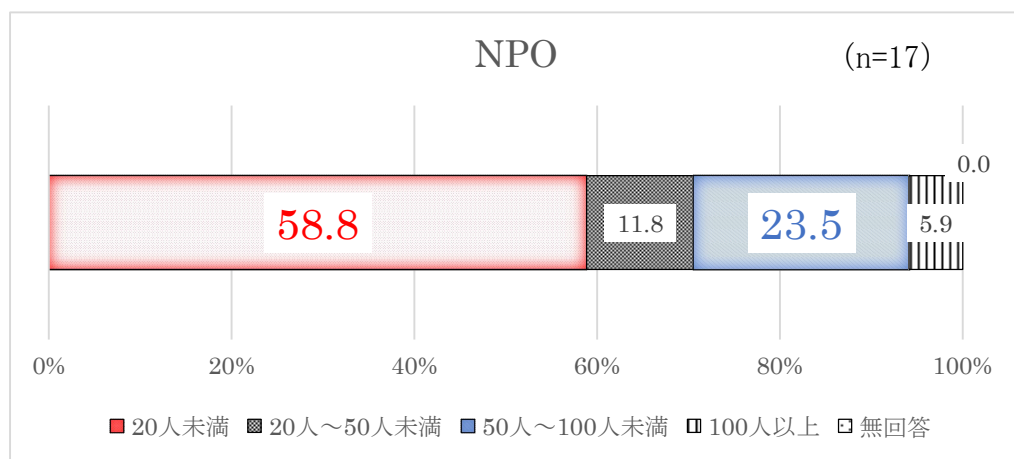
- ・NPO 団体は10年～20年未満が一番多く、41.2%、市民公益活動団体は20年以上が49.3%と半数近くを占めていますが、20年以上続いている団体はNPOで17.6%という結果となっています。
- ・活動年数が3年未満となっているのはNPOで11.8%、市民公益活動団体では4.2%と新しい団体は比較的少なくなっています。



問2 会員数を教えてください（〇は1つ）

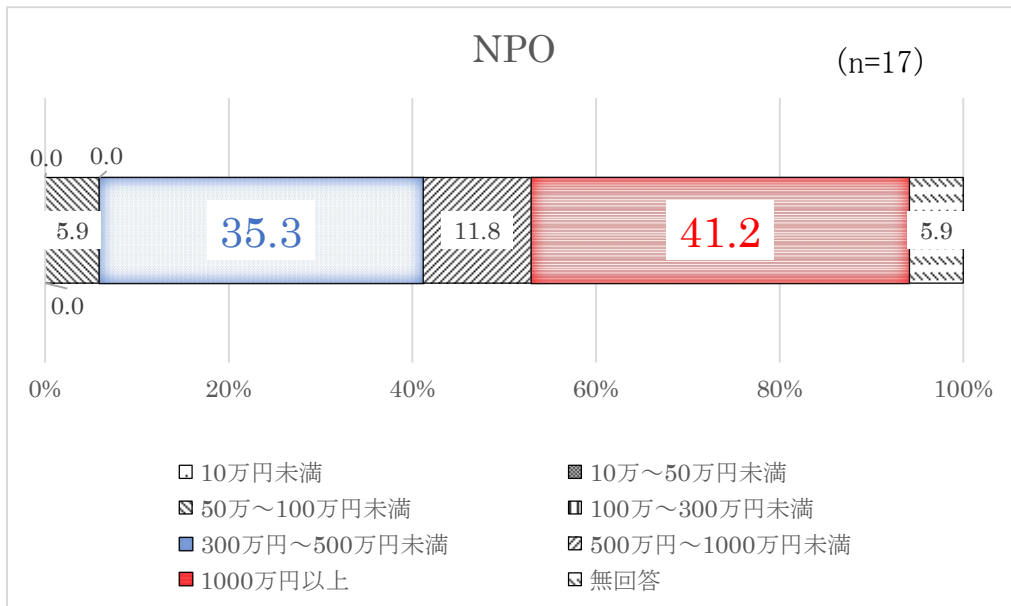
・NPO 団体では 20 人未満が一番多く、58.8%。その次が 50 人～100 人未満となっています。市民公益活動団体は 10 人～20 人未満が一番多く、45.1%となっており、次に 10 人未満となっています。

・NPO、市民公益活動団体、共に多人数の団体は少数派となっています。



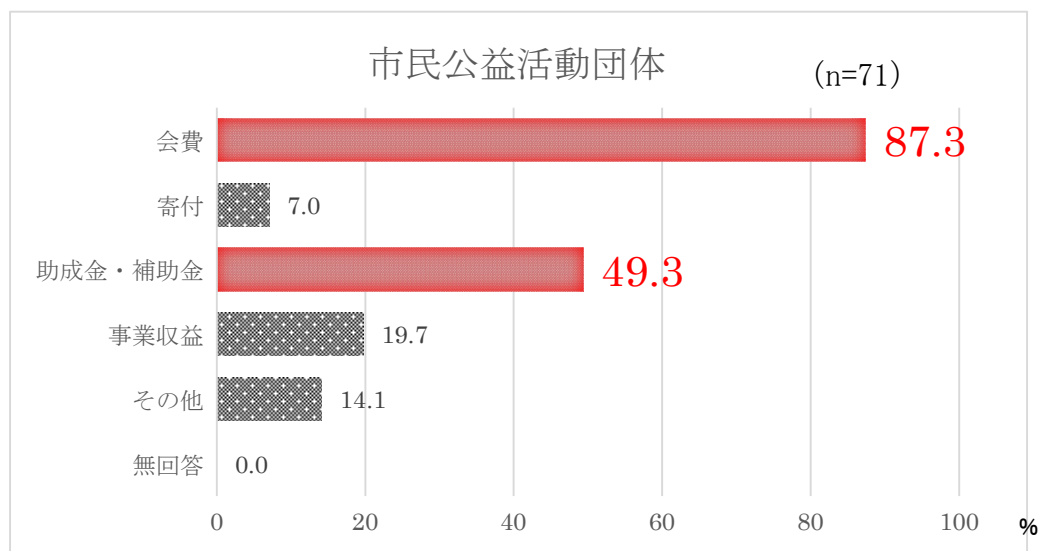
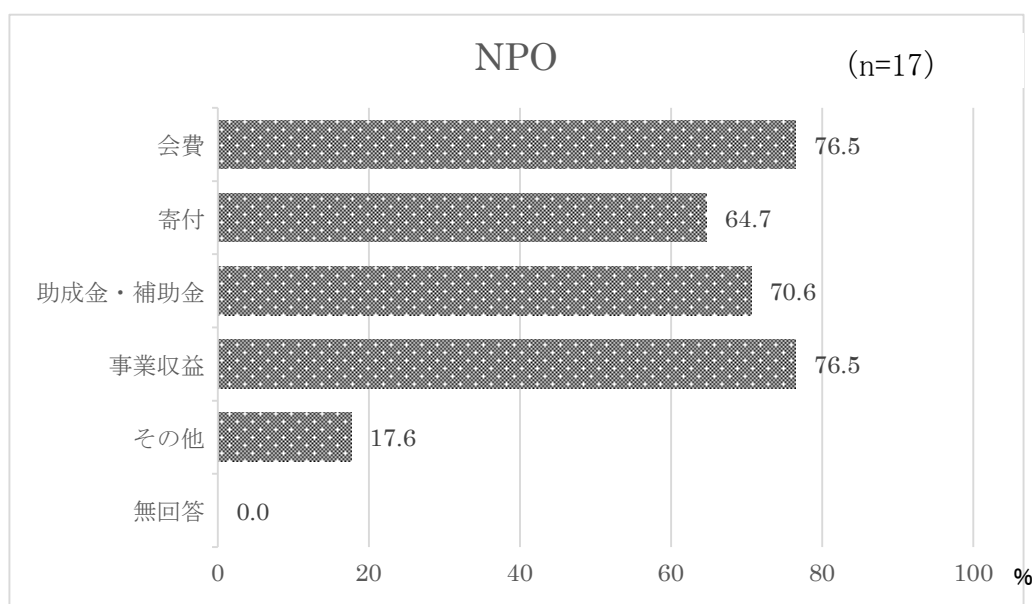
問3 予算規模（令和3年度実績）を教えてください。（〇は1つ）

・予算規模が1000万円以上と回答した団体が一番多く、41.2%。次に300万円～500万円未満が多く、35.3%となっています。



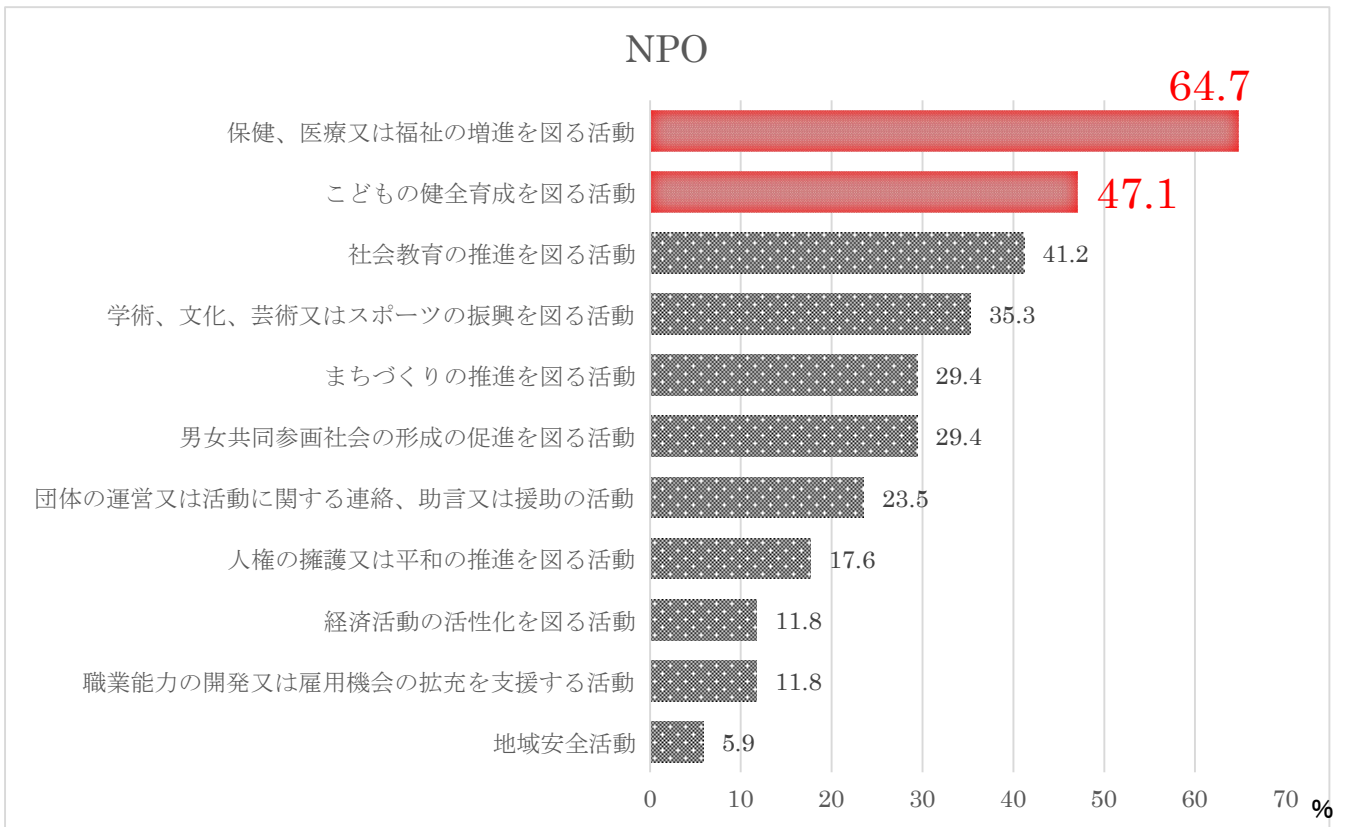
問4 活動資金をどのように確保されていますか。(あてはまるものすべてに○)

- ・NPO 団体は会費、寄付、助成金・補助金、事業収益がほぼ同じ割合となっています。
- ・NPO のその他の活動資金として、「委託費」や「指定管理事業」という意見があります。
- ・市民公益活動団体の活動資金は会費が 87.3%を占めており、その次は助成金・補助金の 49.3%です。
- ・市民公益活動団体のその他の活動資金としては「謝礼金」、「講師料」、「自己負担」という意見があります。



問5 活動分野を教えてください。(あてはまるものに○)

・「保健・医療又は福祉の増進を図る活動」が最も多く、64.7%。その次に「こどもの健全育成を図る活動」が47.1%となっています。



問6 具体的な活動内容を教えてください

原文のまま

NPO

- ・福祉施設の第三者評価を行っています。
- ・誰もが自立した生活を送るための支援、介護予防、質の高い楽しみの提供等を通して、地域福祉への貢献をめざしています。
- ・NPO法人みちとして活動。障がい者福祉サービス事業を行っています。
 - 1.就労継続支援B型事業
 - 2.生活介護支援事業
 - 3.短期入所・日中一時支援事業
 - 4.グループホーム事業(共同生活事業)
- ・障害者福祉事業、障害者通所事業
- ・広い拠点(イズミヤ多田店4階)をお借りしているので、各教室が大幅に増え、大人数を呼べるイベント開催が容易になった。(落語会、皆で歌う会、コンサート、講座など)
- ・地域活動支援センターの運営
- ・障がいのある人達へのサポートや自立支援と活動支援
- ・プロレス興行、イベント。高齢者、障がい者施設、保育園へのボランティア訪問
- ・保育所運営
- ・障害者地域活動支援センター
- ・大学生ボランティアリーダーによる小学生対象野外教育キャンプを行っています。
- ・高齢者に対して、地域に向き健康長寿を延ばしていく介護予防運動指導推進・継続活動と生きがい創りの為に地域の活動団体へ指導者の派遣を行う
- ・家族の思いや家族の幸せを形にするためにはどうすれば良いのか、ということが出発点です。障害のある人を、そして「生きづらさを抱える人たち」を見守りながら、ともに幸せに暮らせる社会を、身近な場所で住民の方々とともにめざしたいと思っています。
 - 1 地域活動支援センター プレイす 晴々の運営
 - 2 小地域活動の一環として高齢者サロン「うるおいサロン」の開催 その他
- ・子育て支援拠点の運営など、地域子育て支援
- ・活動体は、会員による、障がいご本人の体操教室、音楽療法等の余暇充実活動。

事業体は、障がい福祉サービス事業、生活介護、短期入所、グループホーム、居宅介護、相談事業所の運営。
- ・日本弓術の普及、伝承を図り弓術を通じて健康増進及び青少年健全育成、人格形成に寄与する為定期的な弓道教室(実技、座学)、また指導者の質向上の為 指導講習等を実施、月例会をはじめとする競争会を実施している。
- ・中間支援組織のNPO 法人として、また「市民の、市民による、市民のための事務局」として、さまざまな主体間を「つなぐ」活動をしている。

市民公益活動団体

- ・傾聴をしながらアロマオイルを使ってハンドタッチケアをする「心のケア」のための活動
- ・心理カウンセリングの勉強会
- ・川西市の「女性のための電話相談」を受諾
- ・語学習得
- ・月3回の定例練習
- ・門戸厄神、箕面チームへの練習参加
- ・地域のお祭りや施設へのイベント等の出演
- ・他チーム交流の全体会議
- ・憲法についての講演会や学習会を開催しています。おおよそ春、秋の2回程度。
憲法に関心を寄せてもらえるよう、公民館、市民活動センターで展示を行っている。年に3回程度。
- ・高齢者施設での音楽療法(毎週木曜日)、毎月第1第3土曜日ゲームなどの手伝い、外出時の車椅子の介助、毎月1日料理レクレーションなどの手伝い。他、夏祭りなど祭日時の手伝い
- ・読書会・本を読んで感じた事を一人ひとりが語り合うことにより深まる。試練を話すことで問題を解決する道を探す
- ・清掃奉仕。備品(催事で使用するもの)の管理。他団体催事への協力。グラウンドゴルフの推進
- ・視力障がい者の方へ、文字を声にかえてCDで情報提供する。
音訳(市の広報誌、広報誌各種折込誌、ふくし協会だより、録音図書など)、市主催行事の司会
- ・桜が丘小学校で放課後子供教室で、お花、お茶教室をさせていただいています。コロナ禍により、ここ数年はお茶教室は中止です。今も開催していません。お花教室は、中止の時期もありましたが、今は続けております。
- ・月に2回、無料で親子の遊べる場所を提供しています。(コロナのためほとんど活動は中止しています。)
- ・川西合唱連盟に所属。兵庫県合唱等、川西合唱祭などに参加
- ・子育て支援施設、小学校、障がい者作業施設等へ伺い、良質な絵本を読み聞かせる活動をしています。
- ・ハーモニカの伴奏、演奏による活動。訪問先は、主に高齢者施設等
- ・栄養士グループなので、高齢者の食事、主に「フレイル」の内容を包括さんからの依頼があれば講師をさせていただいています。また、離乳食試食作りなど、保健センターの依頼で「もぐもぐ離乳食教室」させていただいています。
- ※ボランティアの赤ちゃん交流会。「むぎのめ」さんの調理実習などは、コロナ禍のため、活動出来ていません。
- ・主に高齢者を対象に傾聴活動を行っています。施設訪問と個人宅へ2人一組で行って行りましたが、コロナで施設訪問は休止中です。
- ・本会はハイキング活動を通じて健康の維持、増進と相互の親睦を図ること、および地域のコミュニティ福祉、環境等にボランティア活動により社会貢献する。
- ・親子向けの読み聞かせ(絵本、エプロンシアター、紙芝居)
- ・合唱を通じ、地域文化の向上に寄与する目的とする。
 - 1.川西合唱祭に参加
 - 2.自主企画の演唱会を年1回開催する。
 - 3.介護施設への訪問演奏を行う。(現在がコロナ禍のため中止になる。)
- ・定期演奏会(年1回程)、市・社協・コミュニティ・自治体・企業等からの依頼出演、その他文化祭、ほか自主的な演奏会
- ・月1回の定例会では会員が集まって情報交換、スキルアップなどを行っています。また、川西市危機管理課からの依頼で各地防災訓練などに助言や訓練を実施しています。

・障がい児者の方々との交流や援助活動、機能回復や知的発達を促す一助となる布の絵本、遊具づくりをしています。布の絵本、遊具の一部は、市立中央図書館、ボランティア活動センターに展示しています。これらの作品は幼児や高齢者のレクリエーションの場などでも使っていただいています。個人、団体を問わず作品の貸し出しをしています。

例会：毎月第 1,3(木曜)10:00~16:00(キセラ川西プラザ福祉棟 2 階)

- ・小・中学校へのキャップハンディ教室、出前講座、障がい者団体・ボランティア団体行事、公民館行事への参加、聞こえに関係なく交流し、手話やろう文化などを学習
 - ・自治会、老人会、子供会、老人福祉施設等でマジックの実演によるボランティア活動
 - ・子育て支援ということで、地域での親子サークルの手伝いや、イベントの手伝いなどを行っている。
 - ・平和学習会、書き損じはがきキャンペーン、世界こどもの絵展、わたしの町のたからもの絵画展、チャリティーコンサート(世界寺子屋運動支援)
 - ・フラダンスの練習、フェスタでの発表
 - ・身体の不調(腰痛、肩こり他)を改善するための運動プログラムを月 1、2 回パレットにて不定期に開催しています。(コロナのため休みにしていたこともあります。)
 - ・絵手紙、唄う会
 - ・視覚障がい者の方々、及び自分で本を読むことが困難になっている方々のために
 - ・毎月前半、後半に分け、新聞のコラム(15 日分ずつ)をテープ、及びCDに録音して送付
 - ・毎月俳句同人誌「未央」をテープ及びCDに録音して送付
 - ・「社協かわにし」全ページをテープ及びCDに録音して送付(現時点年 3 回)
 - ・川西市立図書館の年 1 度のバリアフリー上映会にて映画の音声ガイドをしています。
 - ・希望者に対面朗読をしています。
 - ・V連の行事の参加(フリーマーケット等)
 - ・毎月例会をしております。
 - ・カウンセリング入門講座(年 1 回)(コロナでできてない)
 - 傾聴の勉強・訓練(月 2 回)
 - 心の葛藤、ストレスを早く解決する
 - 普段の生活をおだやかにするには、心のワクを取り除くには
 - ・地域の独居の人達を集めて、食事会やお茶会等していました。ここ 2 年くらいはまともに活動できていません。
 - ・視覚障がい者等の点訳活動
 - ・現在コロナで活動はしていません。休止状態です。過去においては障がい者とその家族との交流会として一泊旅行や日帰りのイベントを行っていました。
 - ・認知症に限らず介護経験者だからこそ分かりあえる不安、辛さ、しんどさ、愚痴を話し合い、また、アドバイスや情報交換が出来、気分転換ができる場です。
 - ・ドッグセラピー(イベント参加、特養老人ホーム訪問、障がい者施設訪問)、クリーンアップ(市内美化運動)への参加、災害救助犬育成、防災訓練への参加、トライやるウィークへの協力など
 - ・施設のお茶のサービス、行事のお手伝い
 - ・地域ごとに分かれて月 2 回衣、食、住、家計、子どものことなどについて、生活の工夫や生き方を学びあっている。
- 月 1 回の例会で(中央公民館)日頃の活動報告を聞き合う。
- ・講師の先生を招いて、コミュニケーションの勉強。人と人とのつながりを大事にして、自分をしっかりみていく。そして、グループでの活動を重視し、自由に話し合える仲間づくりを目指している。

- ・月 2 回ペンを使った水彩画で風景画を描く
- ・よさこい踊りを中心に、大正琴、詩吟、笠踊り、ハーモニカ、南京玉すだれ、皿回し、紙芝居、フラダンスとそれぞれの特技を生かし、介護施設を訪問しています。
- ・県・市・町からの食育に関するイベントの参加
- ・主にボランティア活動です。老人ホーム慰問。デイサービス慰問
- ・特技(フラダンス、ウクレレ演奏)を活かして高齢者や介護者に楽しんでいただき、又、私達メンバー33名ほとんど70歳以上の体力維持と会員同志の団結と生きがい作り。コロナ禍で施設訪問が出来なくなったので、高齢になっても介護を必要としないフレイル予防運動を老人福祉センター(一の鳥居)や公民館(清和台)で発表の場を作っている。
- ・幼児とその保護者を対象にした英語に慣れ親しむ会の手伝い。当日の会場設定、教材(先生があらかじめ準備されている物)を並べたり参加している様子の写真を撮ったり。コロナ前は老人施設、4か月検診時の手伝い
- ・漢詩吟詠並びに作詩学習、論語の素読
- ・毎月王して第一、第三の金曜日、14時~16時50分、水彩画を描くことにより自己表現を学ぶ場とする。
- ・市内公立保育所やこども園8ヶ所、育成クラブ3ヶ所、小学校1ヶ所、公民館、児童センターで活動しています。子どもたちにストーリーテリングや絵本の読み聞かせ・詩・わらべうた・手遊びなどを組み合わせたプログラムで「おはなし会」を行います。また6月に郷土館、11月に中央図書館でおとなを対象にしたおはなし会を行っています。月に1回、定例会と勉強会(ストーリーテリングと絵本)を行っています。
- ・定年後に会員相互の互助活動で、ボランティア活動主体の活動を行っている。
会員個人が自分の出来る範囲のことを、他の会員で助けを求めている人に手助けをする活動を行なっている。庭木の伐採や自宅内の掃除等の作業を行なっている。
- 活動を実施した人には、時間当たりのポイントが付与されそれが保持され、自分が助けを必要とした時にそのポイントを使って他の会員にヘルプをしてもらう。時間預託制度
- ・毎月第2、第4火曜日に市民活動センターにて学習会
絵画に精通した女性画家の教示を受けながら自由闊達に水彩画を描き、技法、集中力、悩みや苦しみを癒すアートセラピー、自己成長や個性を表現し、感動、共感を共有し、生涯学習意欲の向上を目指しています。
- ・小地域経済圏の自立めざした地域農家との交流や自給農の試み。給食のオーガニック化の活動。地域の諸課題についての啓発活動や提案活動。
- ・障害福祉サービス事業
就労継続支援 B 型事業所の運営(障がいがある人の就労支援)
箕面駅農福連携の実施(矢間農園の管理、体験農園の実施、6次化産業)
→ケーキ工房菓楽の運営(店舗、出張販売、お菓子づくり体験)
- ・農業・地域活性化事業
KHJ ひきこもり家族会の運営
→全国ひきこもり家族会連合会の川西支部
→月1回の茶話会、不定期のセミナー実施
- ・保育活動
- ・私どもは川西市のボランティア活動グループに登録しているギター合奏団であり、高齢者住宅やデイサービス又は自治会や福祉委員会等の依頼により各施設に訪問して演奏する「出前演奏会」を通じて地域の皆様にギター合奏演奏を楽しんで頂いております。
またメンバーは月に2~3回練習場所である公民館に集まって演奏会に備えての練習をするとともに、メンバー同士の親睦と交流を図っています。

- ・居場所心家の運営、子ども食堂、ピアサポート開催
 - ・アロマテラピーやハーブなどの植物療法を学び、自身や家族、身近な人の健康に役立てるための学習会開催。ハンドマッサージ練習会。ハンドマッサージボランティア育成(社協出前講座)。会員向け勉強会(外部講師招致)
 - ・1. 毎週木曜日:いきいき百歳体操開催
 - A 班 9 時 30 分～10 時 30 分
 - B 班 11 時～12 時
 - 2. 毎週木曜日:A 班 B 班合同で例会、学習会、脳トレなど開催(10 時 30 分～11 時)
 - 3. 第 1、第 3 土曜日:カロリング&スローイングビンゴ開催
 - ・子育て中の保護者の社会参加を援助し、講座や講演会などで、子ども達の一時保育をしています。
 - ・パソコン・タブレットの研修を重ねて少しでも社会に還元したい。
 - ・アルコール依存症の早期発見と早期治療及び回復の持続のための自助グループへの接続をめざす、SBIRTS(スクリーニング、簡易介入、専門医への紹介、自助グループへの紹介)。
 - ・重複障がい者の環境や支援方法を学び、共に活動しています
 - ・子育てでお悩みの方に寄り添い、今聴いてほしいお困りごとに対しての啓発セミナーやサポートをしています。また、保護者の方の心の開放の場として五感の会という癒しの会も行っています。
 - ・中国式ベビーマッサージと言われる小児推拿(しょうにすいな)や中医学的な養生法を赤ちゃんやお子さんのママさんやご家族にお伝えすることで少しでも子育ての不安を解消し、楽しく日々を過ごしていただくお手伝いをしております。
 - ・聞こえの不自由な方に筆談などの方法で、交流をしながら社会参加をサポートしている。
- 川西難聴者 耳の会との交流、聞こえを学ぶ筆談ボランティア講座の実施が主な活動です。
- 兵庫県要約筆記サークル連絡協議会に所属して、活動に協力している。
- 多くのメンバーが、兵庫県難聴者福祉協会の会員として登録し、監事を務めるなどで協会の活動に協力している。
- ・よさこい鳴子踊りの演舞を通じ、ボランティア依頼にて地域自治体や介護、福祉施設でのお祭り・イベント、レクリエーション等で地域の方々や利用者との交流を図る活動をしている。
 - ・手話の表現や読み取りの練習・聞こえない方々との交流・講師を招聘して学ぶなど。
 - ・平成 24 年度に兵庫県が実施した「いのちとこころのサポーター・リーダー養成講座」の精神を引き継ぎ、地域の身近な人々に対して、ほほえみや笑いを引き出すような取り組みを通じて「だれもが住みやすい優しい地域づくり」を進める活動を推進し、公共の福祉に貢献することを目的に発足した非営利活動ボランティア団体です。
 - ・シニアを主体とした健康づくり。そのための姿勢調整、エクササイズ、スロージョギング、勉強会の実施
 - ・2・4 木曜日を例会として練習
 - ・暮らし、子育て、平和など女性の願いで行動する国連NGOの女性団体です。世界の女性と連帯し、持続可能な平和でジェンダー平等の社会をめざしています。ロシアのウクライナ侵略や日本の軍事化の動きに「戦争やめて」「核兵器だめ」「憲法を守って」と各地で声をあげ行動しています。ウォーキングや山歩き、体操や絵手、ちぎり絵、パソコン点訳、うたう会などのサークルが 72 あり楽しく交流しています。
 - ・交流会(当事者(セクシュアルマイノリティ)の居場所作り、当事者と支援者(アライ)の交流
- セクシュアルマイノリティ関連の情報の提供や発信
- セクシュアルマイノリティに関する相談
- セクシュアルマイノリティのイベントへの参加

問7 今後の活動内容についてどのようにお考えですか。

原文のまま

NPO

- ・事業所からの依頼(評価)が減少傾向にあるので、団体の維持が難しい。
 - ・メンバー一人ひとりの専門性を活かし、取り組みを積み重ねて暮らしやすい社会を作っていきたい。
 - ・令和4年4月に「生活介護支援事業」を導入した。今後は、生活相談事業所を、令和5年度に新たに導入すべく相談支援員の募集をしています。
 - ・拡大していきたい。
 - ・この場所は多田東地区の中心にあり、情報発信、受信の場として申し分なく都合がよい。このことで、今までなかったようなイベントを企画し、面白い楽しいまちづくりのお手伝いがしたい。
 - ・安定した運営で心の病の人たちに日中活動の場、居場所を提供していきたい。
 - ・コロナ禍の中、感染に注意し、現状の支援活動の持続と継続
 - ・関西圏の広い範囲(娯楽の少ない場所、プロレスを見たことがない土地で)プロレスを開催し、元気を届けたい。
 - ・地域の保護者が安心して働きにいけるようにしたい。
 - ・より充実させていきたい。
 - ・現在、児童養護施設の子供たちを招待してのプログラム、キャンプを行っていますが、今後、不登校、ひきこもり状態にある子ども達の参加や居場所作りを考えています。
 - ・活動の継続を第一の目標としていく。
 - ・〇自分が病気や障害者になっても、私達の街が安心して暮らせるような街になること
 - 〇[おたがいさま] があたりまえになること、世の中が [おおらか] な価値基準になること そのために、支援される人が支援することもできるような環境を小地域から作りだしていく
 - 〇その一環として、近隣自治会と協働で「うるおいサロン」という集いから地域協働事業を継続実施していく
 - ・拠点づくりを中心に、子育てのニーズに応じた柔軟な取り組みを推進する
 - ・活動体は、当事者団体として、理解者を増やす啓発活動に力を入れる。
- 事業体は、介護サービス包括型のグループホームを日中支援型に移行を目指す。
- ・今後も教室、講習会、競争会を実施しまた中学生、高校生への青少年対象の弓道教室なども実施を計画しております。
 - ・問6の活動を、時代に即応させながら深化させて継続する。

市民公益活動団体

- ・安定した活動と人材確保のための講習会開催及び新規活動場所や理解者支援者の広がり
- ・続けていきたい
- ・語学習得し見解を広げる。
- ・自治会やコミュニティ、市老連とのつながりをもって、お祭り、イベント等に出演できるよう、しっかり練習していきたい。
- ・現在は感染の心配から休んでいますが、再開したいと考えています。
- ・いままでの様な活動でいいと思っています。
- ・今までと変わることなく読書とミーティングすることでお一人おひとりが心の成長とお互いに心を開いて何でも語り合い智慧を出し合って協調問題解決し明るく調和のある家庭職場を目指してゆきます。
- ・上記活動の継続。会員の高齢化にともない難しくなっているが、負担をおさえつつ出来るだけ続けていきたい。
- ・会員相互の勉強会等により会員の育成
- ・お花やお茶を学ぶことにより、「美を楽しむ」を通して、「豊かな心」
 - 1.美しいものや自然に感動する心
 - 2.良い行いに感銘する心
 - 3.生命を大切にすること
 - 4.他人を思いやる心やさしさなどの育成を願っています。

お花でははさみを使用し、お茶ではお湯を使用しますので、児童がケガをしないように注意し、指導員の方々が気楽に誰でもお手伝いが出来る教室であり、後継者育成に務め、いつまでもこの教室が続けていけますように願っています。
- ・コロナが収束すれば以前のように活動を行いたいと思っています。
- ・現在の活動が続けられれば
- ・以前は保健センター様、川西北幼稚園様、川西中学校様よりご依頼がありましたが、コロナにより中断。ご依頼あり次第活動したいと思っています。
- ・コロナ禍、高齢者等施設への訪問は困難な現状を踏まえ、地域の認知症カフェ等の少人数への集まりへの参加。
- ・メンバー8名で65歳以上1名、70歳以上2名、80歳以上1名、65歳以下の4名は仕事を持ちながらの活動のため、今後は包括さんや保険センターの依頼をこなすだけになりそうです。
- ・出前講座など需要がありそうなので、しっかり勉強して実力をつけて皆で協力して活動をしていきたい。今はしっかりと勉強していく時期だと思う。また、会内の個人同士がしっかりと互いにコミュニケーションをとって活動して良かったと思うようにはげんでいきたい。
- ・毎月恒例(ハイキング)を開催することに我々会員は高齢者が多く、各々の健康維持に努めているが、その中でボランティア活動をいかに活動するか行動がともなわない。
- ・今のところ今のままで。(月1回のおはなし会、市民向けの講座)
- ・合唱を通じ、地域文化の向上に寄与する目的とする。
 - 1.川西合唱祭に参加
 - 2.自主企画の演奏会を年1回開催する。
 - 3.介護施設への訪問演奏を行う。(現在がコロナ禍のため中止になる。)
- ・マンドリン、ギター演奏の川西市内での認知度がやや低く感じられるため、マンドリン音楽の普及に努めたい。
- ・メンバーが高齢化していますが、活動が続けられるよ方法がないかメンバーでも話し合っています。

- ・現在の活動を継続し、手話を学習すると共に、聴覚障がい者の生活や歴史を学び、聴覚障がい者の福祉向上のために活動
- ・多くの方に知っていただき、会員数を増やし、ボランティアで色々な人を楽しませたい。今でも充分ですが？
- ・この数年、コロナのため、サークル活動が中止になったこともあり、会員が保育所、幼稚園などに働きに行く時間が増え、活動の時間を取りにくくなった。そのため、今後の活動について考えていることである。
- ・本年創立 30 周年を迎え、記念事業として「川西のたからもの」を見つける活動を始める。SDGsの観点からも有意義なことと考えます。
- ・人数が増えるなら発表の場を広げたい。
- ・会員の方がお仕事を持っておられるので、定期開催が今の現状では難しいのでその点をクリアしていきたいと考えています。
- ・みなさんと楽しく絵をかき、唄を歌っておしゃべりなどしています。
- ・現在の活動は継続していきたい。しかしながら、視覚障がい者の方々の高齢化のことを考えると、これから先、どの位続けられるのかを案じております。これは[問 7]でお答えさせていただきます。
- ・会員さんを増やしたい。会員さんが少ないため、傾聴ボランティアもできない。病院に行くほどでもない人の話し相手としての活動ができたと思う。コロナが落ち着いたら少し活動できるかなあとコロナ終息を願っている。
- ・出来ればいろいろ楽しい催しをしたいです。
- ・今まで通りの活動ができればよい
- ・コロナ禍においては活動はしません。
- ・会員数が減少しているので、会をどう維持していったら良いか迷いながら活動しています。
- ・今までの活動を継続する予定。昨年も今年もコロナの影響で、ほとんど活動が出来なかったのです。
- ・コロナで施設からの依頼が止まっているので、再開すれば活動する予定です。
- ・現在の活動を考えている。9月21日パレットで鍋帽子を作る会をします。
- ・今後も今の活動を続けていき、一人一人が成長していきたい。
- ・絵を描く上でいろんな技術を勉強しながら向上し、市等の展示募集があれば応募してみたい。
- ・ボランティアとして訪問している我々も、年々年を重ねていきます。施設に行きますと、みなさんの笑顔が待ってくれます。元気でいつまでも活動出来たら最高です。頑張ります。
- ・地域に向けて食育啓発活動、栄養相談、料理教室などをしていきたい。
- ・練習もしています。人から依頼がありましたら喜んで行かせてもらいます。
- ・高齢者の医療費の削減につながるような楽しい居場所づくりをして引きこもり老人をつくらぬ運動
例：フラダンス・・・瀬戸の花嫁、ワイキキのフラ娘
ウクレレ演奏・・・お嫁において、口のラジオ体操
広報かわにし 8月号 一の鳥居老人福祉センター8/24 発表の場を作りました。
- ・メンバーが高齢者ばかりですが、社会とのつながりを持ち続けたいと考えているので、体力的に無理のないような内容のもので活動が出来ればと思う。
- ・現在の活動を継続
- ・従来とうり研鑽してゆく。
- ・これまでの活動を続けていきたい。またコロナ禍で中止している公開講座や講演会を企画して開催したい。
- ・会員の高齢化が進み、活動を実施出来る人が高齢化で出来なくなって来ており、年寄りでも年齢の若い人(定年退職直後の60代後半)の加入促進が必要となっている。

自分ができることを、他の人が困っていることに、必要にしていることに少しずつでも継続して手助けする活動を継続していく。

- ・高齢者が多く、無理せず個々の体調を優先しながら作品展や親睦会等、目標を持って邁進して行きたい。
- ・食の地域自立めざした食工房建設。拠点を建設し、新しいライフスタイルの体験の場を創る。

・(1)障害福祉サービス事業

就労継続支援 B 型事業所の運営(障がいがある人の就労支援)

→農福連携の実施(矢問農園の管理、体験農園の実施、6 次化産業)

→ケーキ工房菓楽の運営(店舗、出張販売、お菓子づくり体験)

→全国でもトップクラスの広さである貸農園である矢問農園を起点にした事業展開

(2)農業・地域活性化事業

KHJ ひきこもり家族会の運営

→全国ひきこもり家族会連合会の川西支部

→月 1 回の茶話会、不定期のセミナー実施

→家族会だけでなく、ひきこもり当事者のニーズに合わせた事業展開

(3)就労支援事業

川西市の就労準備支援の受託

→生活困窮者、生活保護受給者の就労支援

→地域の事業者での職業体験の実施

月 1 回の就労支援セミナーの開催

→川西市での中間的就労のモデルづくり

・今まで通り、社協と協力しながら行う

・2019 年度までは、ボランティア活動としての「出前演奏会」も順調に行っていましたが、コロナ禍の中各施設等の受け入れ状態も厳しく思ったような活動ができていません。

コロナ禍以前の状態にもどれば良いのですが、ウイズコロナの状態でも我々ボランティアグループの活動ができるような機会や対策を市として検討していただけないでしょうか。

・コロナの感染拡大で中断している地域の方たちに向けてイベント開催。

子ども食堂とは別に孤立しがちな方などを対象として食事会の開催が出来ればと考えています。

・学んだことのアウトプットをする。アロマやハーブを周りの人にも広め、共に健康へ意識を高めるための活動を行う。ボランティアとして、施設や子育て支援現場に訪問する。

また、その職員や保育士、医療関係者などに、ハンドマッサージを伝えていく。

会員の知識、技術を向上させるためのさらなる学習会、研修の強化。

・新型コロナウイルスの感染を克服するまでは現状の活動を継続します。

気候が良くなる時期(秋ごろ)には、屋外スポーツ「モルック」の開催を検討します。

その後は、2020 年 2 月以降中止していました「吹き矢」や「屋外学習・体験活動」を再開します。

また、専門スタッフ(認定心理士・防災士・応急手当普及員・食生活改善推進委員など)による講習会などを開催したいと考えています。

・現在の子どもの達の一時的保育の形を継承すると共に、会員も講座や講演会などに積極的に参加するようにしたい。

・パソコン・タブレットの講習会、スマホの講習会

・現在当会は、会員 4 名家族会員 8 名にて、高齢者中心、会員獲得が最大の課題です。

・重複障がい者を理解してもらい、社会活動をより行いやすくするように、啓蒙とより一層の学び

・働いている保護者の方も来やすいように土曜日に相談会を設定しています。今後もっとお悩み事を気軽に話せる場を作っていく予定です。

・今まで以上に必要な方に届くような活動していきたいです。

・要約筆記をすれば中途失聴、難聴者の社会参加を支援できることを啓発したい。

川西難聴者 耳の会の例会や交流会、他団体の会議などを ZOOM で実施できるように支援をしたい。

川西市の小中学校で、聴覚障害児への支援として、情報保障を担当したい。

・コロナ禍で活動を控えているが、状況を見て以前のように活動していきたい。

・今、若い人たちの入会が増えているので、定着してもらえるように、手話の魅力を伝えられるような活動を企画したい。

・現在の取り組みを通じて「だれもが住みやすい優しい地域づくり」を進める活動をしながら、メンバーを増やしていきたい。

また、自殺者が女性や子ども達が増加傾向にあり、新たな事業展開も考えいきたい。

・活動内容をより多くの方に知ってもらい、健康づくり活動を広げていきたい。

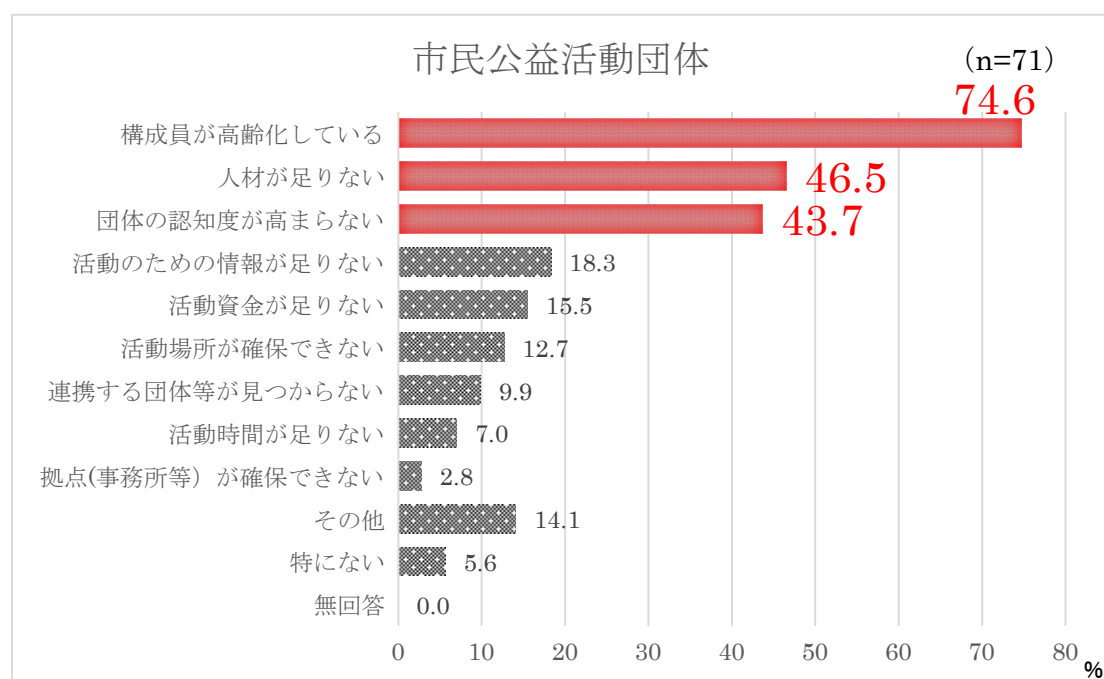
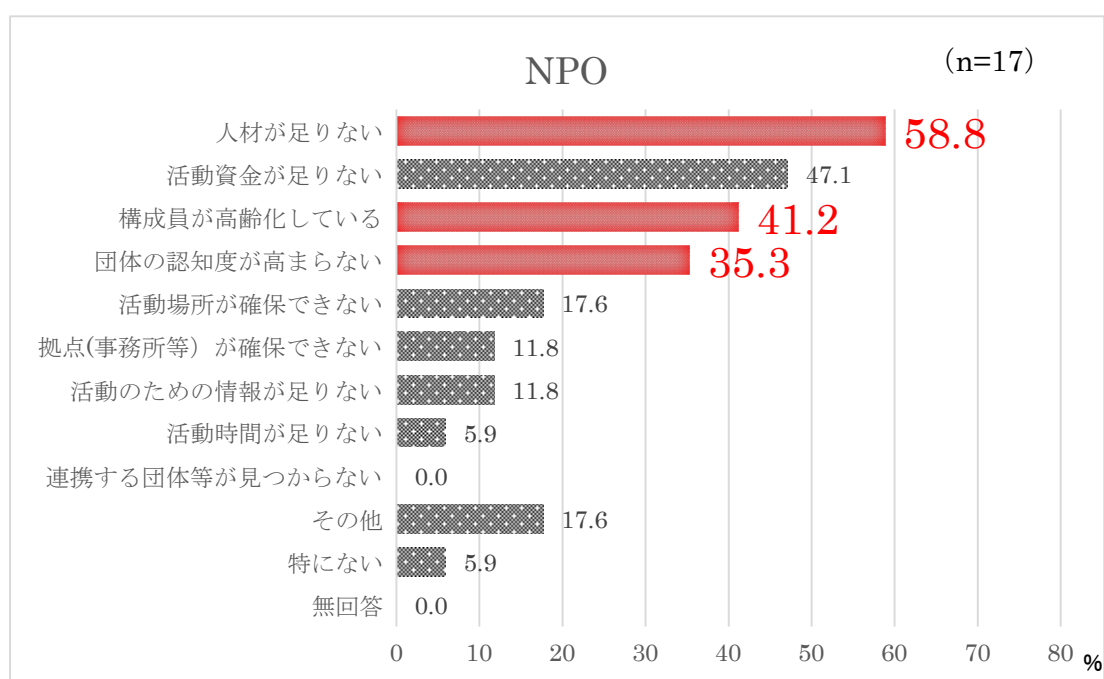
・ホーム、施設、病院等の慰問。フェスティバルに参加

・今後も活動内容は変わることなく、次世代につなげていきたいと行動しています。

・これからも続けていきたい。セクシュアルマイノリティへの理解の為の講演活動を続けたいし、増やしていきたい。

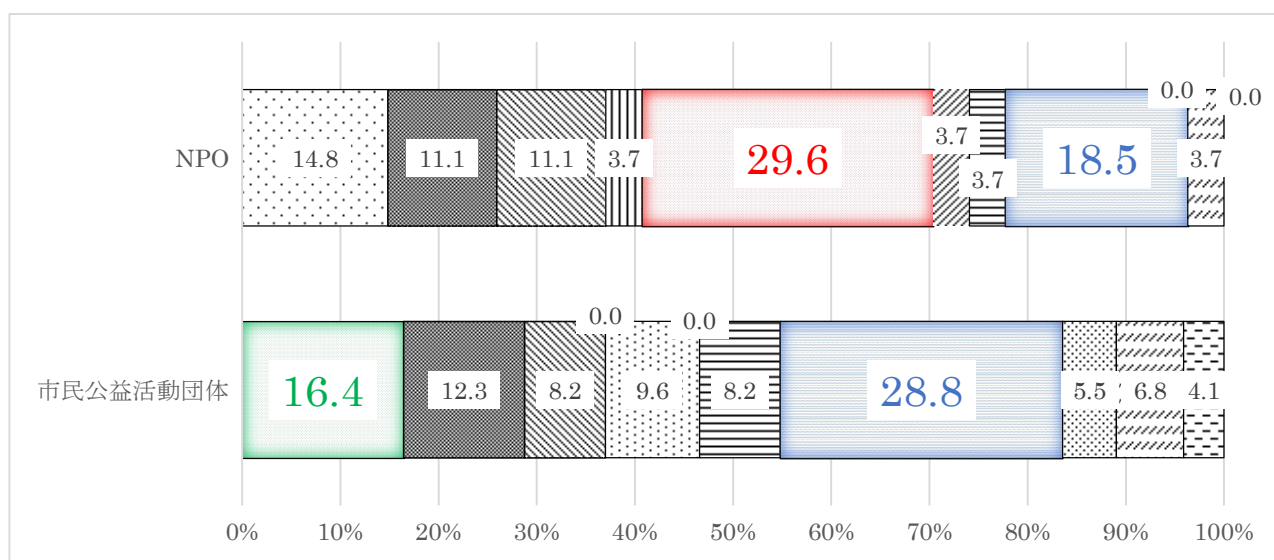
問8 活動を行う中で困っていることや課題と考えていることはどのようなことですか。
(あてはまるものすべてに○)

- ・NPO、市民公益活動団体共に「人材が足りない」、「構成員が高齢化している」、「団体の認知度が高まらない」が上位を占めています。ただ、市民公益活動団体の1位は「構成員が高齢化している」です。これは問1にて質問した活動年数が市民公益活動団体の方が長いという結果からみても妥当と推測されます。
- ・その他意見として、NPOは人件費の捻出が難しいことが挙げられています。市民公益活動団体はコロナ禍における、イベント等の企画ができないことや中止が多く挙げられています。



問9 問8で回答していただいた中で、特に行政からの支援が必要と考えるものを3つまであげて、それについて詳しく教えてください。

- NPO、市民公益活動団体共に行政からの支援が必要と考えるものは人材関連ではなく、NPOは「活動資金が足りない」であり、その次は「団体の認知度が高まらない」です。市民公益活動団体は「団体の認知度が高まらない」が一番多く、その次は「人材が足りない」です。
- NPOの「活動資金が足りない」について詳細意見として、人件費、会場費が挙げられています。また、行政から業務委託をすることにより、人件費、会場費が解決されることもあります。
- 市民公益活動団体「団体の認知度が高まらない」について詳細意見として、広報や市のホームページ等に掲載して欲しいといった意見が散見されました。団体の認知度が高まることにより、活動の場が広がると期待されています。



- | | | | | | |
|--|-----------------|--|----------------|--|------------------|
| | 1.人材が足りない | | 2.構成員が高齢化している | | 3.活動場所が確保できない |
| | 4.拠点が確保できない | | 5.活動資金が足りない | | 6.活動時間が足りない |
| | 7.活動のための情報が足りない | | 8.団体の認知度が高まらない | | 9.連携する団体等が見つからない |
| | 10.その他 | | 11.特になし | | |

原文のまま

NPO

1. 人材が足りない

- ・人材確保のための賃金アップ
- ・活動からスタートする中で、規模が大きくなるにつれ事務局機能の強化が必要。事務などをプロボノ的に指南、支援していただければ。
- ・会員の減少により、役員の担い手がない。
- ・この拠点の活動をPRしていただきたい。特別扱いという意味ではなし、他の地域の方々の刺激になるようなやり方で。川西市の達人を教えてください。(いろんな分野の)

2. 構成員が高齢化している

- ・補助金の継続的支援
- ・老いた人たちが頑張っている中、若い人たちの活動支援があれば互いに協力し合える面も生まれる。
- ・30～40代の主婦が17時ころまで働けるよう、学童保育の運営時間も遅い時間まで対応して頂きたい。

3. 活動場所が確保できない

- ・コロナ禍以前は、地域包括、自治会、老人会、施設等から依頼を受け、イベント、介護予防教室等を開催してきました。現在は当然ながら依頼はゼロ。それに代わるものとしてアマビエ体操を考案。フレイル予防をアマビエのあみちゃんと体操の動画を通して呼びかけてきました。又、エコバック作りを始めました。ちょっとおしゃれな背守り刺繍の入ったものです。コロナ禍の中でそれぞれの団体が工夫していることを集め、川西市から市民が元気の出るエールを送っていただきたい。
- ・プロレスを開催できる場所(体育館等)があっても「有料イベント」の場合、会場使用代が上がり、開催しにくい時があります。
- ・事業に活用できる物件を改装するための補助金額のアップ

4. 拠点(事務所等)が確保できない

- ・事務所費などの固定費の支出を抱えることで、財源確保のための活動におわれることがあり、目的を見失い疲弊する。活動への補助と同時に間接費用の補助を。

5. 活動資金が足りない

- ・今回コロナ感染予防として、ワクチン接種を主に総合体育館で行われていますが、法人が借用している体育館内の喫茶業務を閉鎖しているが、コロナ前は2500千円/年の売り上げが、一昨年1500千円、昨年800千円、今年300千円と激減しており、障がい者への工賃支払いが非常に少なくなっているが、この保証はない。このような部門への資金援助をしてほしい。
- ・行政から委託を受けられるような活動があれば、資金不足をおぎなえ、更に市民活動を広げることができる。
- ・小地域活動への理解と活動資金の支援
- ・事業活動経費の大部分が人件費です。補助金等の仕組みの中の人件費補助率を高めてほしい。
- ・青少年育成に関して 学校スポーツ活動のなかかで弓道を選択出来るよう行政も積極的に支援を頂きたい。
- ・「収益の一部を寄付」「65歳以上無料」「一部の小学生はご家族も無料」等をして、たくさんの方にプロレスを見て元気を届けようとしています。

- ・弓道を通じた市民の健康増進の為の活動に対して 例えば健幸マイレージの様な参加者ににメリットがある施策を創設頂きたい。
- ・市民活動をこの拠点の振いとられず、しゃりんの森、夢勝庵、岡本寺など総合的に取り組みを拡げ、この地域が面白い地域であることをわかってもらいたい。そのPRのお手伝いをお願いしたい。
- ・会場費を少しでも支援していただくと助かります。

6. 活動時間が足りない

- ・川西市から障がい者団体への仕事ができるよう配慮してもらっているが、自動車の洗車業務は、障がい者団体へ、毎年入札依頼されているが、令和4年度も最低価格で入札業者が決まっているが、今回、法人みちは650円/Hで提出したが、さらに下回る団体に決まった。最低賃金900円を大幅に下回るこのような入札方式は問題があり改めてほしい。障がい者団体で洗車ができる所は最大4事業しかないの、6か月毎の輪番制にすれば2年で各団体が仕事ができる。そのように発注方法を変更してほしい。

7. 活動のための情報が足りない

- ・市が把握する地域での催事でNPOがPRや出店等の参加機会のある催事情報のご提供

8. 団体の認知度が高まらない

- ・事業所等の第三者評価受審に向けた働きかけがほしい。福祉の質の向上の為には不可欠である。
- ・プログラム、キャンプへの参加を呼びかける方法が難しく、行政からの発信があるとずいぶん変わると思います。特に今は不登校児に対して。
- ・市が把握する地域での催事でNPOがPRや出店等の参加機会のある催事情報のご提供
- ・団体の認知度が高まらない
- ・コロナ禍の鬱屈した気分を払拭できる明るい情報の
- ・法人みちは相談支援事業所を令和5年度新設しようと思います。市は協力してほしい。現在の市内の相談支援事業所から、就労B、生活、グループホーム事業への紹介が少ない傾向にある。

9. 連携する団体等が見つからない。

10. その他

- ・公共性の高い事業をしているNPO法人の賃借料(家賃)について、減免措置を設けるなど。

市民公益活動団体

1. 人材が足りない

- ・手話講座の開講や、その広報で協力いただき、講座の開催方法も任せていただいている。しかし、通訳者を指望す人もいるサークルで派遣通訳の料金が兵庫県下でワースト 2 位とはモチベーション低下につながり、活動の中で技術力アップの妨げになっている。
- ・今の社会と同じく我々も高齢化しており、体力的にもしんどくなっております。行政にはもっとボランティア要員を育ててほしい。
- ・雇用や非雇用(有償・無償)ボランティア人材を求めている NPO と、新たな働き方(副業など)や地域での繋がりを求めている個人とのマッチングイベント
- ・資金援助
- ・広報版へのポスター掲示、SNS でお知らせしているが、思うように参加者、メンバーが集まらない。
- ・団体への行政からの支援というより、行政でセクシュアルマイノリティ支援センターが出来たらいいのではと思っている。
- ・毎回とは言いませんが、地域包括センターの方に是非参加していただきたい。
- ・広報活動
- ・ボランティア人数が足りていないと感じます。
- ・地域包括支援センター、生活保護者のアルコール依存症の情報提供です
- ・ネットワークシステム構築したら
- ・活動に協力してくれるスタッフがない。

2. 構成員が高齢化している

- ・若い方の活動に参加して頂きたいと思っています。
 - ・この会は福祉のボランティアを会の目的にしているが、1 つとして高齢者、認知症であっても足の健康な人を参加してもらおうことを心がけているが実施にはいたっていない。
 - ・部員も高齢化しているので、あと 2 年ぐらいで休めたいと思います。
 - ・構成員が高齢化しているので交通手段を考えて欲しい。例：施設が持っている 10 人乗りバスをチャーターして欲しい。
 - ・サークル構成員が高齢化し、体調不良等で欠員が多くなり、サークル維持の為に広く公募して欲しい。
 - ・特になし
 - ・この会の行事は月 1 回を基本とし、参加者が交通費、昼食費、施設見学、利用料等は実費としている。(夫婦の参加が多い)市から低額でも行事 1 回毎の補助金の支給を希望する。
 - ・コロナ禍のため、ボランティア活動の一部が中止になり、活動が出来ない。リモート活動など考えましたが、ズームなど使えるメンバーがあまりない。
 - ・地域の祭りやイベントに若者が沢山いることを考えると「NPO に関わるキッカケ」づくりがまだまだ足りていないように感じます。
- 社会課題を知るスタディツアーの実施や、自分たちの地域にとってメリットのあるような活動を NPO がしています、といったことが伝えられると双方の距離感が少しは縮まるかもしれません。

3. 活動場所が確保できない

- ・施設での活動が休止中なので、出前講座を主催できるよう、知識と体験をつんでいきたい。
- ・活動(練習)場所を増やして欲しい。
- ・コロナの中で施設への活動が出来ない。
- ・行政がボランティア活動グループが活動できる機会を提供して欲しい。
- ・活動を広く周知してもらうために、講座開講、広報掲載などをお願いできたらと思います。
- ・地域の場所をかりるのもめんどくささがある。地域の間関係の難しさがある。

4. 拠点(事務所等)が確保できない

5. 活動資金が足りない

- ・地域の夏祭りやフェスティバル等の大規模なステージへの出演の場合、太鼓を保管している門戸厄神からの2tトラックでの太鼓搬出入となり、費用が、レンタカー代、運転代と2万円程度かかりますので、出演依頼元が出して下さる場合も申し出しにくく、市で支援して下さったらありがたいです。
- ・現在の活動を行う中で、パソコン・プレクストークその他機材類の買換時期が迫ってきており、その費用を助成金等で補助して頂ければ助かります。
- ・ITの器材に関して、今あるパソコンとか、プロジェクターとかが古くなっていて、個人のをつかわざるを得ない時がある。そういう費用がかかるものを市に支援してほしい。
- ・新たな事業展開の為の研修等の費用支援
- ・コロナ禍の中で、例会や勉強会などを実施できていない団体は少なくない。ZOOMなどでの会議をしたくても、川西市では、Wi-Fiを使える会議室が少なく実現が難しいので、公共施設すべてにWi-Fiを導入してほしい。
- ・活動資機材の保管場所の支援
- ・主にパレットの会議室を借りて活動しているが、参加者が少ないためチラシや資料の作成、機材を運ぶ車の駐車料金が持ち出しとなっている。
- ・活動に必要な高額な資材を購入する時に援助がほしい。

6. 活動時間が足りない

7. 活動のための情報が足りない

- ・活動場所の確保のための情報提供をして欲しい。
- ・研修会などがあれば教えてほしい。(活動のための情報は足りない)
- ・他の団体と交流していないので、情報が入ってこない。
- ・ズームなどリモート研修のやり方などの講習会を希望したい。貸室などでWi-Fiの設備をお願いしたい。
- ・行政との交流がほしい。
- ・地域への活動を広げる為の連携支援

8. 団体の認知度が高まらない

- ・インターネットなどで活動紹介ページがあると嬉しいです。”川西市””子供””あそびば”などのワード検索で検索した時にすぐに出てくると集客につながると思います。
- ・川西市社会福祉協議会のボランティアグループとして登録しているが、川西市としての認知度が低い。

・すでに支援を頂いていますのが、市役所危機管理課、社会福祉協議会です。今後もさらなる連携が必要と思います。

・広報などで取り上げていただけたらと願います。

・現在カセットテープ及びCDを送付させていただいている視覚障がい者の方の人数は新聞コラム 5 名、未央 4 名、社協かわにし 14 名です。もっと視覚障がい者の方々に私たちの活動を知っていただきたいというのが私達の希望です。私達だけでは視覚障がい者の方々の把握は出来ません。個人情報保護法の元では難しい問題なのでしょうか。高齢化が進みこれからの活動も難しくなっていくのではとっております。

行政の方から私達の活動をお伝えいただければ希望者も増えるのではと期待しております。何年か前にも要望はしたのですが改善されませんでした。

・会員募集する時の連絡先を個人のところにするといかがわしい団体と思われて申し込みが少ないので、公民館等にしてほしい。現在はパレットに拠点を置いているので入門講座等の申し込みをパレットにしてほしい。

・団体の行事などを広報に載せていただきたい。

・地域や他団体とのパイプ役をしていただけたらありがたいです。

・伝統文化を繋いでいくという姿勢が低い

・酒害に困っている市民情報が、いただきますれば、幸いです。

・特に支援が必要とは考えていませんが、連携は取れると良いなと思います。

・特にありませんが告知などが届けたい方々(赤ちゃんや幼児さんをお持ちのママさんやご家族)に届けばいいなあと思います。

・会の活動状況を市の広報誌で取り上げてもらう。但し新規参入の会員が加入しても、演奏レベル(技倆)の差がありすぎると、限られた例会の時間内でどう調整をするか(杞憂に終われば良いが)

(今年はコロナの影響で慰問はなかなか進まないが)11/3(木)川西市文化のつどい、11/18(金)市老連演奏会に出演予定

・音訳したCDを聞いていただけるリスナーさんが増えるとうれしいです。

・市の広報誌、他の印刷物に掲載して頂けると、人が集まりやすいかと思えます。

・市からの認知度の向上と後援

・広報かわにしに載せても高齢者は見ていない。

・各福祉施設等にボランティア活動グループの存在をもっと知らしめて欲しい。

育成に力を入れたいと考えていますが、どのように集めていけばよいか悩んでいます。

すでにボランティアとして活動されている団体様や、民生児童委員さん、福祉委員さんが興味を持ってくださればと感じています。

・各グループの活動内容を、広報紙などを通じ報告し市民に幅広く理解を得、活動を発展・定着させたい。

・市が主催する音楽行事に参加出来ないか。(マンドリンオリジナル曲から映画、アニメ等国内外の曲目が主体)

・川西市では、義務教育での聴覚障害児への情報保障が十分ではありません。川西サマリーとしては、すべての授業への対応は難しいが、できる限りの情報保障(ボランティアで良いので)をしていきたいので、川西市は体制を整えてほしい。

9連携する団体等が見つからない

・市内で活動しているグループと活動内容や情報交換などを通じ、自己研鑽を行う交流の場づくり。

・聴覚障害を理解する「理解促進研修・啓発事業」は、市町村の必須事業として定められています。川西市では、社協主催の「聞こえを学ぶ筆談ボランティア講座」を実施していますが、筆談が主で要約筆記は含まれておりません。川西サマリーとして講座に協力しますので、川西難聴者 耳の会も巻き込んで、他市町で実施されているレベルの啓発講座の実施を希望します。

・よいと思うグループ活動に参加しても中心人物のワンマンでやめてしまう。

・社会資源が限られている中でもあるため、NPO 同士の結束を強めていく必要があると感じています。

福祉、まちづくり、教育、などテーマごとに事業者が集まる仕組みがあると連携が推進され、足りない部分を補い合うことができるのではと感じています。

10. その他

・内部の再編に支援は不要だが、課題解決については行政との協力を期待したい。

・特になし(他 2 件)

・1日もはやく、コロナ以前に戻る事を望んでいます。

・行政でこういう団体の保険の支援があると、スタッフにも遊びに来てくれる親子にとっても安心になります。

・少子化対策

川西市は国平均、県平均より合計特殊率は低かったと思います。市の発展のためにも大事なことです。安心して住み、子育てをしやすい街づくり。若い人が住み続け暮らしていけるよう、予算を取って対策づくりが待たれています。

・男女共同参画の街づくり

特に市役所内で女性の上級職への登用率をあげる。

女性や子どもたちへの施策。特にコロナ禍で非正規職の女性のくらしは大変。シングルマザー、ファーザーへの子育て支援を。貧困と格差が広がっています。

パートナーシップ制度を設置した市として更に進めてファミリーシップ制度の制定を望みます。

・高齢化対策

市の各地で高齢化が進んでいます。高齢者が安心して出かけられるよう、お出かけ支援制度の復活を。又、高齢者の居場所づくり、くらしへの支援など。地域で生き生き元気に暮らせるよう支援策が必要です。

11. 特になし

・現在パレットで活動させてもらっているが、これが無くなると活動できないので、引き続き使用させていただきたい。

・団体の活動について設立時と状況が変わってきたため、活動の縮小いずれは解散も考えているので特に支援は求めない。

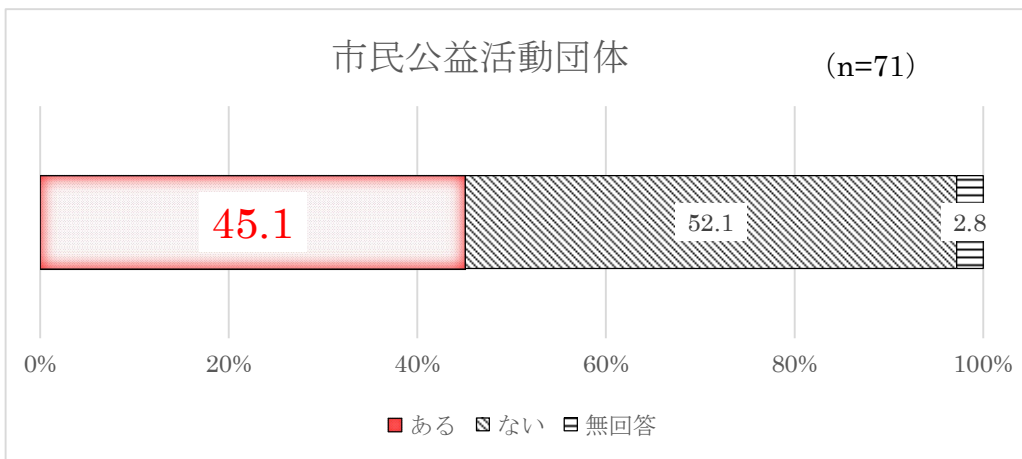
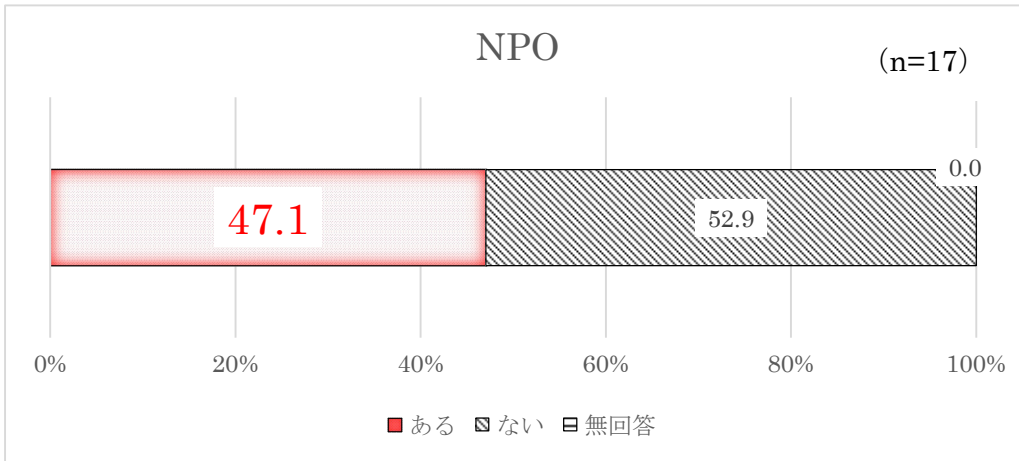
・市民が楽しく充実した人生を過ごせるよう、使用料は絶対に値上げしないで下さい。

3

市との協働について

問10 市と協働したことがある、あるいは市と協働で実施している活動はありますか

・NPO、市民公益活動団体共にほぼ半数近くが市と協働したことがあると回答されています。



問10で「1 ある」と答えた方におたずねします。

問11 それはどのような活動ですか。

NPO

- ・協働事業を実施(補助金)
- ・指定管理事業を実施
- ・出前講座を実施
- ・市役所1階の「みんなの店」への参加
- ・ふれ愛バザールを実施
- ・市主催のイベントへの参加

市民公益活動団体

- ・市民活動センターの講座やフェスタへの参加
- ・地域主催のイベント参加
- ・社会福祉協議会からの依頼
- ・市主催のイベント参加
- ・公民館での講座への参加

問10で「1 ある」と答えた方におたずねします。

問12 市と協働されて、良かった点があれば教えてください。

原文のまま

NPO

- ・助成金をいただいた。資金を得て実現出来た。
- ・出店等にて、色々な方との交流を持つことができる。それによって出店等の参加に声かけして頂ける。
- ・障がい者への理解が微力ながら広がったと思います
- ・川西市の現状がわかること
- ・安定的に事業を継続できる。広く市民に参加をよびかけることができる。民としての活動の理念を市と共有し、互いに影響を与えあうことで、市民にとって有益な取り組みを生むことができる。
- ・重度障がい者の生活介護、短期入所、グループホームの開設と、相談事業所の開設ができた。
- ・多くの方々に弓道に親しむ機会が得られその後の弓道教室参加者が増えました。
- ・NPO 単体ではできない事業が、それぞれの持ち分を持ち寄ることで、深みと広がりのある事業が可能になる。

市民公益活動団体

- ・パレット川西スタッフの方々との話し合いで、私共グループのPR、活動支援等のお力添えをいただき感謝しています。
- ・市民のみなさまに幅広く和太鼓の良さを知っていただけた。
- ・高齢者の方々や、赤ちゃんのお母さんの話を直に聞ける。
- ・大きく動けるし、場所確保等も容易でした。
- ・地域市民への認知度の向上
- ・依頼者に伝えにくいことを伝えてくれます。
- ・公民館の講座参加者が、公民館内の自主活動の親子サークルがあるのを知り、サークル活動に入会されることがある。
- ・障がい者の方々、及び家族の方、また、他団体の会員の方々との交流ができて良かった。
- ・いずみ会は食生活の事で自分にもためになる。料理教室等は楽しい。親子料理も楽しい。
- ・地域がきれいになった
- ・講習料をいただいたこと
- ・「森の泉」に載せてもらってること
- ・情報共有できて常に勉強する機会を与えてもらっていた。
- ・見物客が多くてよかった
- ・後援の承認。発表の会場の日程確保が出来る
- ・活動の認知度や情宣伝など
- ・課や担当者の方・状況によって異なる、という前提はもちろんありますが…
- ・協働団体と交流できたことで仲間の輪が広がったこと。
- ・市の支援は安心できるという柱があること。
- ・川西市民として誇りをもって共に協働できること。
- ・運営面でとても助かる。
以前、全面的な委託で実施していた時は、人的負担と申込み、講演者の選定や経費面での問題があった。
- ・活動の場が広がった
- ・パレットで参加する団体と交流を深め、イベントを成功させるため、共に力を出し合い行動できたこと。学習会や講演会への参加

問10で「1 ある」と答えた方におたずねします。

問13 市と協働されて、難しかった点があれば教えてください。

原文のまま

NPO

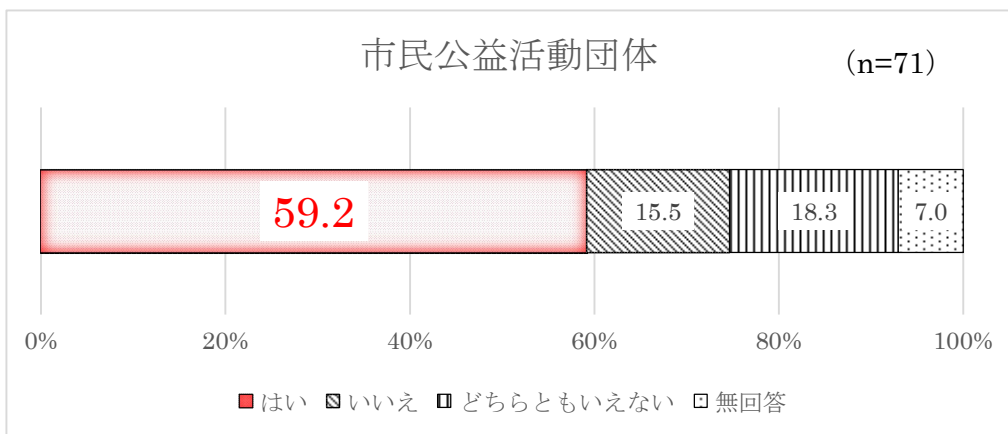
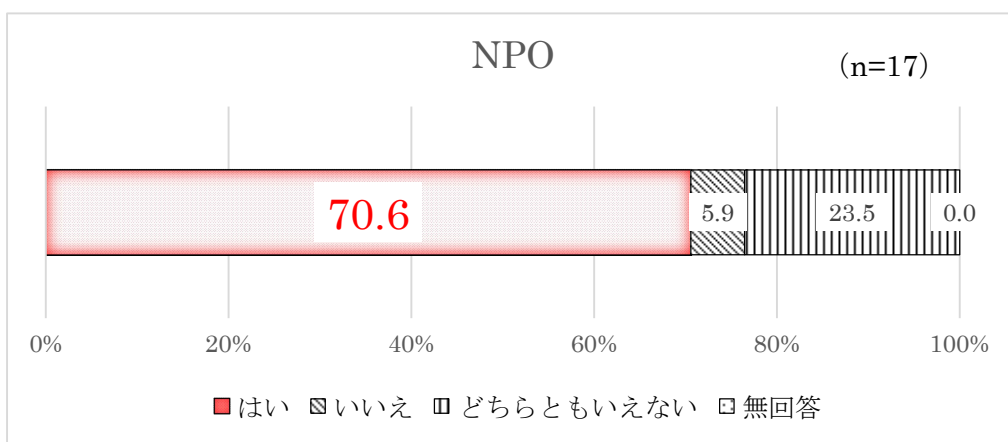
- ・当初の申請書類、手続き
- ・若い職員さん達は、夢ややる気があっても、2～3年の配属がえがあったり、上司の理解が得られない所が長続きしない要因だと感じています。
- ・市としての公平性の考え方により、民ならではの柔軟性、幅広い展開が制限される場合があること。
- ・現在のところ特にありません
- ・「協働」の視点と捉え方が、行政内でも一定していない場合がある。

市民公益活動団体

- ・市から社協から依頼のあったデイサービスイベントは、先方がボランティアとしての意味合いが深いので、3000円上限でと申されたので出費が痛かったです。
- ・色々な面で大変でしたし、今思えばよくやれたなあと思います。今では時代とともにそのような大きなことは出来ないと思います。
- ・定期的に日程があれば良いですが、包括さんの場合など、依頼が急に決まり、メンバーの人員が不足の場合やWブッキングの場合は難しかった。
- ・もう少し利用の価格を下げしてほしい。
- ・コロナのため、予定していた活動が中止になることがたびたびあったが、中止がギリギリまでわからなかったりした。準備があるので、早めに予定がわかるようにしてほしい。
- ・交流を継続し、深めていくことは難しいと思います。
- ・市民後見窓口は相談にこない。
- ・ことばだけの協働に終わっている。実態が希薄
- ・課や担当者の方・状況によって異なる、という前提はもちろんありますが…
問10の裏返しになりますが、公平性を担保するあまり制度の枠、というものが当然あります。その枠からはみ出されるケースは少なくないと感じています。
- ・コロナ禍で、企画されても延期、中止になることが多数ありました。
仕方がないことと承知しておりますが、何度も打ち合わせしていたので残念に思います。
- ・現時点では大きな問題点は無い。
- ・1つ1つの行事や学習会が点から面へと発展していかないこと。ただやるだけでなく、検証し課題を見つけ、どう取り組んでいくか市として継続、発展させていくためのチームづくり、側面からの援助が欠けているのではないかと考える。

問14 今後、市と協働を行っていききたい（行ったことがある場合を含めて）ですか。（○は1つ）
回答理由も教えてください。

- NPO は7割以上の団体が市と協働を行いたいと回答しています。
 その理由として挙げられているのが「つながりたい」や「活動や団体の認知度を高めたい」となっています。
- 市民公益活動団体は、NPO に対して少ないが6割弱の団体が市と協働を行いたいと回答しています。
 行っていききたい理由としてはNPOと同様、「つながりたい」も挙がっていますが「活動を広げたい」といった理由も見受けられます。

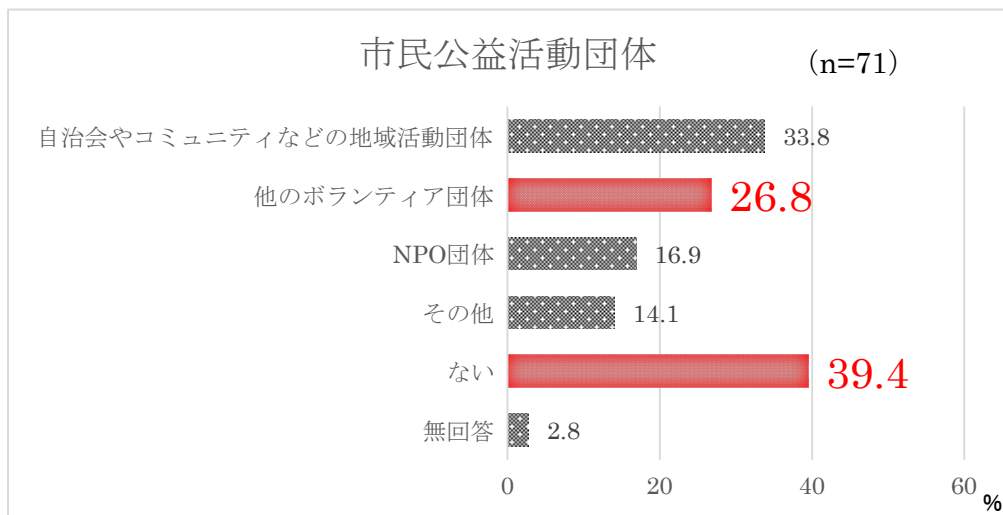
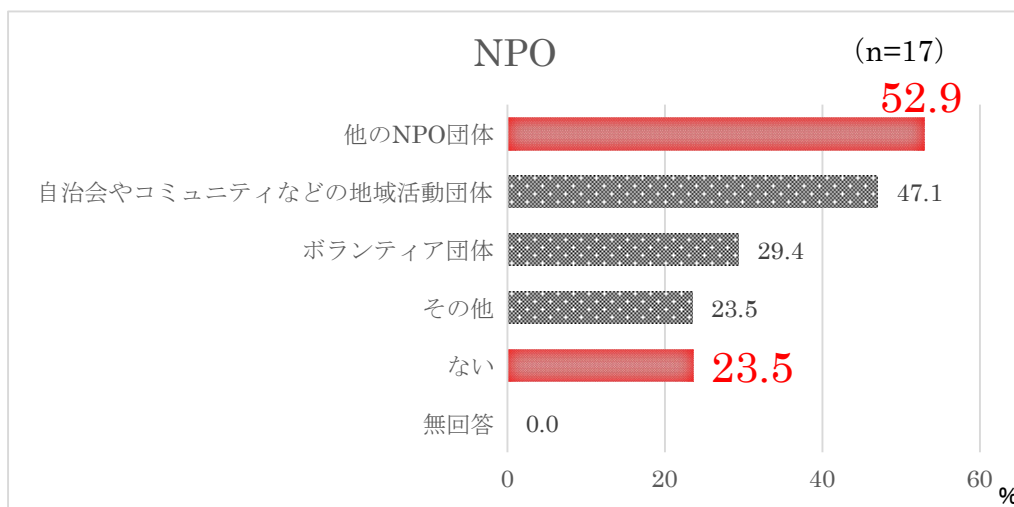


4

地域や他の活動団体との関わりについて

問15 一緒に活動や交流している団体を教えてください。(あてはまるものすべてに○)

- ・NPO は他の NPO 団体と半数近くが交流があり、まったく交流がない団体は 23.5%にとどまっています。
- ・市民公益活動団体は全く交流がない団体が 4 割近くにも上っており、他の市民公益活動団体とは 26.8%の交流となっています。他の市民公益活動団体と比べると、自治会やコミュニティなどの地域活動団体との交流が多いです。



問 15 で「1 自治会やコミュニティなどの地域活動団体」「2 NPO 団体」「3 ボランティア団体」「4 その他」と答えた方におたずねします。

問 16 それはどのような活動や交流ですか。

原文のまま

NPO

- ・地域の活動団体からは依頼を受けイベントや予防教室開催しています。
- ・他のNPOからは情報提供
- ・ボランティア団体からこちらの活動に必要なメンバーの協力を得る。
- ・ハピネス作業所、小戸作業所・・・同事業所とのつながり
- ・みんなの店出展でのつながり
- ・グループホームの情報を共有しあう。
- ・当NPOは前身が多田東コミュニティ協議会のまちづくり委員会なので、現在コミより委託により、今までの市民活動を拡げている。
- ・花くらぶに参加
- ・他の障害者団体との交流
- ・地区の体育祭で景品の調達
- ・夏祭りに夜店出店
- ・川西小学校区の人権と福祉に関する連携と協力
- ・障がい者一日サロンな推進、アステから西びいふう広場でのふれ愛バザールを参画、川西市役所庁内 1 階での販売
- ・プロレスラーの貸し出し(参戦)
- ・Sasabese(笹部地区)での居場所作りサポート
- ・高齢者サロンを自治会(自治会近隣の高齢者も参加可能)と協働開催し、NPO の福祉事業の利用者もスタッフとしてサロン運営に参加しており、自治会役員・サロン参加者・障害当事者の交流が徐々に進んでいる
- ・連絡体などでの連携
- ・コロナ前は、久代小地区、さくら小地区ネットワーク会議も参加。
- ・多田地区福祉委員として委員会に参加、多田地区の障がい者児の集いに会員が参加している
- ・川西市障害者団体連合会、障害種別の関係なく、行事の開催。
- ・コミュニティビジネス・ソーシャルビジネスの切り口での事業

市民公益活動団体

- ・新田自治会、多田コミュニティ協議会、NPOしやらりん多田東、多田東コミュニティ協議会
夏祭り、秋祭り、イベントへの出演
- ・憲法九条を守る趣旨で、市内の団体と共に行事（講演会、街頭宣伝）を持っています。全国市民アクションの一員として参加。
- ・一庫公園、みはらし公園の整備
- ・清掃奉仕や備品の協同利用、催事への協賛
- ・他の音訳グループと合同にて音訳中級講座を受講。また市主催の初級講座の手伝い。
- ・コミュニティの福祉部会にスタッフとして協力していただいています。
- ・合唱を通じた活動
- ・認知症カフェの運営団体との交流を通し、活動の場が新たに確保された。
- ・多田愛育班赤ちゃん交流会 離乳食の講和など
- ・手をつなぐ育成会 もちつきや豚汁の手伝い(ここ3年ほどありません)
- ・北陵公民館 おせち料理講習会など
- ・川西合唱祭
- ・地域の文化祭への参加
- ・社協からの依頼
- ・布の絵本の点字訳をお願いした。
- ・共催の交流や行事、手話講座開催、講座のための講師団設立、手話言語条例制定前後の取り組み、署名運動協力
- ・マジックの実演を年間行事に入れてくれている自治会もある。
- ・国連に認証されたNGOで創立60周年を迎えようとしている女性団体です。
- ・川西市広報誌ミライフを中心に音訳されている音訳グループ「さわらび」と講師を招き音訳講座を(初級、中級)主催、受講をしています。また、随時勉強会もしています。
- ・認知症予防団体。現在その会は活動していない。
- ・サロン(自治会)
- ・夏祭り、年末の夜回り、もちつき
- ・「交流会さくら」を利用している。会議、もより会、家事家計講習会など他団体との情報交換
- ・地域の文化祭
- ・勉強会に参加させてもらったり、県の事業と一緒にさせてもらっている。(栄養ケアステーション)
- ・同様の活動
- ・おはなし会のあと、活動報告や意見交換などを行い、親睦を深めている。
- ・事業としての連携、個人と事業者を繋ぐ連携、個人と個人を繋ぐ連携などをしています。
- ・一人暮らしの高齢者サロン、居場所、認知症カフェ、子育てサークルへのハンドマッサージボランティア訪問。
- ・自治会やボランティア団体様、企業様へのハンドマッサージボランティア育成(社協出前講座)
- ・スポーツクラブ21清和台へ加入し、地域活動クラブとの交流やコミュニティ行事への参画・参加を行っています。
- ・パレットを活動の拠点としてパソコン相談s、スマホの講習会など
- ・学習会やクリスマスなどの行事での交流

・近隣の助産院さんなどに出向いて小児推拿をお伝えしています。

小児推拿では赤ちゃんや幼児さんの便秘やちょっとした体調不良に対するマッサージ的なテクニックをお伝えしています。

・交流会、総会、例会、講演会などに参加したり、準備、運営に協力、機材の貸し出しなど。

・アロマオイルを使って癒しの体験ということでサークルで実施した。

・市の歴史散策のチラシを見て、それにプラスして畑のオーナーに里山の話聞く機会を持った。

・地区福祉委員会等との連携で出前講座を実施した事もあるが、現在コロナ禍で実施出来ていない。

・自治会や愛育班などの集まりで姿勢の勉強会やスロージョギング体験会をしている。自治会の回覧板で案内を流してもらっている。

・パレット川西のフェスタや講座、学習会などで

・自治会や公民館の登録グループの交流会や文化祭

問 15 で「1 自治会やコミュニティなどの地域活動団体」「2 NPO 団体」「3 ボランティア団体」「4 その他」と答えた方におたずねします。

問 17 地域や他の活動団体と一緒に活動や交流されて、良かった点があれば教えてください。

原文のまま

NPO

- ・活動の幅が広がる。
- ・協力して行動できる。
- ・障がい者団体との色々なつながりや情報を得ることができる。それによって出店等につなげていけること
- ・他事業所の運営について知ることができた。
- ・やはり沢山のの人々に知っていただくことが出来るということ。ただのNPOではなく、信頼をいただけること。知恵の結集が出来ること。
- ・他の団体の様子が分かり、運営や日々の活動の情報を得られた。
- ・協力し合い、助け合いながら、販売活動やイベントができる。
- ・色々な相談ができる。
- ・小地域の待ちゆく人、道行く人が障害当事者に声をかけていただける。
- ・NPO に地域の方が訪れていただける。
- ・時々活用できる資材の寄付がある。
- ・情報の共有、各強みを活かした事業の拡充
- ・福祉委員会、多田地域の知的発達障がいへの偏見がなくなり、理解が進んだ。
- ・多様性ととも専門性も求められる昨今、多様な主体と協働することで、事業に広がりや深みが生まれる

市民公益活動団体

- ・地域のみなさんが、出演を観られたり、体験コーナーに参加されたりして、ますます太鼓に興味を持ち、日本古来の文化に親しんでもらえた。
- ・より多くの人に参加してもらい、活気が生まれています。
- ・視野が広くなりました。
- ・活動の幅が広がった。
- ・いろいろな情報を教えてもらえること
- ・活動の場を新たに確保出来たこと
- ・年齢もさまざまな方々と交流ができ、食に対する考え方など「はっと」考えさせられる事もあり、「話を聞いて良かった。今日は楽しかった。」などのお声をいただくと良かったと思います。
- ・様々な知見を得られた。
- ・音楽を通じての連体感
- ・点訳について、色々知らないことが知れたことが良かった。
- ・近隣に多くの仲間がいることを再認識できた。普段は当事者団体、支援団体となっているが、共催することで多くを学べた。
- ・いつも良かったと答えが返ってきます。
- ・同じ視覚障がい者の方々の為の音訳に携わっていますので、共通の問題点等話し合うことができるのは良いと思っています。また、お互いを知り合う機会もでき良い点と思います。

- ・友達ができる。
- ・知り合った人達を講習会にお誘いできた。
- ・介護施設以外で見えていただくのは、私達にとっても元気の源です。
- ・色々な業種の栄養士さんと関わりを持つことができた。
- ・近隣の市の活動状況を聞き、参考にしている。
- ・長く続けてきたので、グループ同士の信頼関係ができています。
- ・情報をひろく得る。広報。人材や資材の融通。
- ・自分たちにはない資源を当事者の方たちに提供できること、自分たちにはない知見を得られること。
- ・情報の提供を受けた。他団体の活動内容が分かり参考になった。
- ・ハンドマッサージをしながらのおしゃべりをとても喜んでくださったこと。
- ・ハンドマッサージを覚えて、入院中の母親へマッサージをしてあげて喜んでもらえたと感想をいただきました。
- ・地域での仲間づくり、相互理解が図れた。
- ・コミュニケーションの勉強になる
- ・助産院さんでは、赤ちゃんが集まっておのずとニーズが集まっているので、喜ばれることが多く嬉しいです。
- ・お悩みがあるママさんたちに届きやすいので、助産師さんにも喜ばれています。
- ・聴覚障害者のこと、団体のことなどを理解することができて、より良い支援や交流につながっている。
- ・V 連の活動に聞こえない方々と参加し、手話通訳をつけてもらったのでみんなにも手話が見えるかたちでよかった。
- ・講師の方も初めての気づきがあったと思われる。
- ・活動しながら新たな人材確保に繋がりたい。
- ・ほほえみサロンを定例で実施しているが、そこへの参加にも繋がっている。
- ・単独でイベントを呼びかけるより人が集まる。
- ・地域でのことやそれぞれの登録グループの活動を知ることができる。地域内での知らなかったことを知ることができる。

問 18 地域や他の活動団体と一緒に活動や交流されて、難しかった点があれば教えてください。

原文のまま

NPO

- ・スムーズに活動、交流するのに時間がかかる場合がある。
- ・NPOそのものの理解が難しいこと。何が違う点、今までと同じ点をていねいに説明が必要である。
- ・各事業所の業務が忙しく、全体をまとめる人材不足
- ・黒川地区など高齢の方々が運営されているところは変化が難しく、もっと若い世代に任せていていただきたいと思
います。
- ・男性の参加、関わり、協力が乏しい
- ・団体間での文化の違いか、生じる齟齬の調整
- ・多様な主体によって「掘って立つところ」の視点が異なることも多い。その意識共有には時間がかかる。

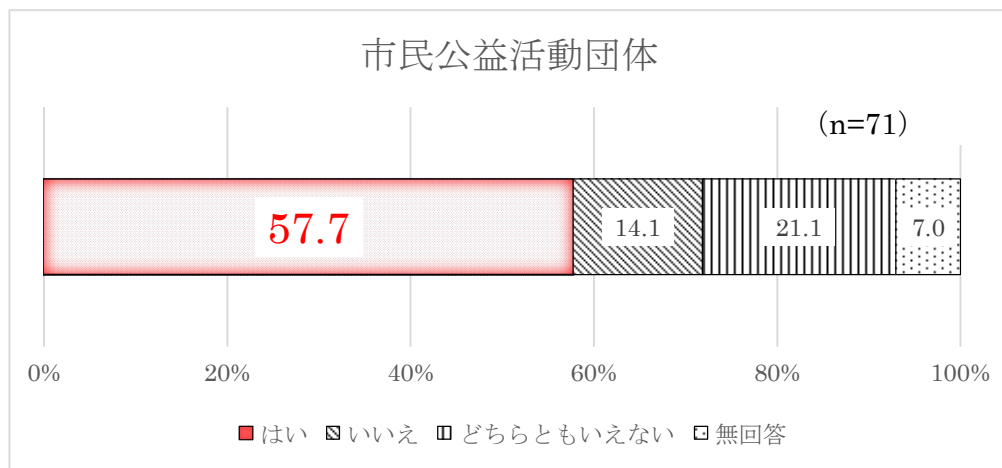
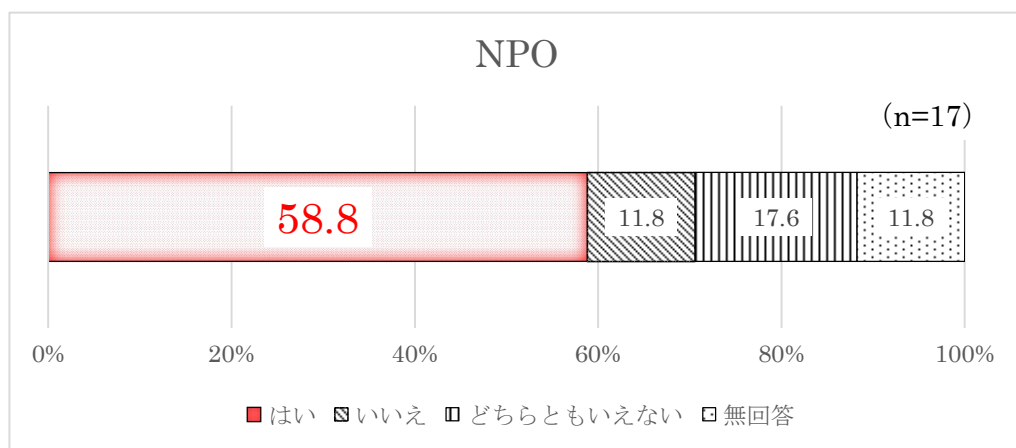
市民公益活動団体

- ・時間的距離的制約がある。
- ・人数的に「さわらび」は多いので、なかなかお一人ずつ知り合うことは難しく、全員での交流は難しいです。
- ・人間関係を良くする会でも難しい。
- ・同系の絵画登録グループだけでも5箇所程あるので勧誘に結び難い。
- ・とくにないです。(他 2 件)
- ・当たり前ですが、自分たちから情報を取りに行かないと接点はつくりにくいです。
- ・関わる世代、年代、環境が変われば接し方、教え方、話し方も変えなければなりません。1 回 1 回が反省と学びで
す。
- ・コミュニケーション方法が1人1人違うため、知るのに時間がかかる
- ・メンバーの不足、技術や知識のあるメンバーの不足、資金不足で性能の良い機材を購入できない(個人の機材でカ
バー)など、望まれる十分な支援ができていない。
- ・ろう者理解がまだまだなので、パワポでも文字だけでなく、映像も欲しい。
- ・活動内容が理解してもらうまで、募集しても、参加に繋がりにくい。
- ・継続して協力してもらうことが難しい。
- ・その時だけのことになってしまい、なかなか深い交流にならないこと。コロナで文化祭や地域の行事が中止になり、な
かなか交流ができない。

問19 今後、地域や他の活動団体と一緒に活動や交流していきたい（行なったことがある場合を含めて）ですか。（〇は1つ）

・NPO、市民公益活動団体共に6割弱の団体が地域や他の活動団体と一緒に活動や交流をしていきたいと回答しています。

挙げられた理由としては「つながりが広がる」、「新しい気づきの発見」、「地域貢献ができる」、「団体の認知につながる」、「社会問題の解決につながる」となっています。



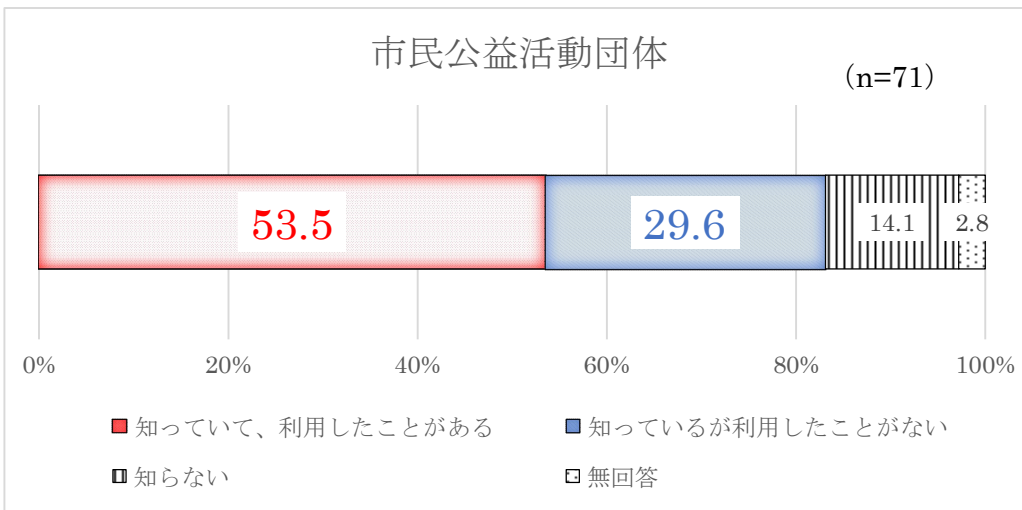
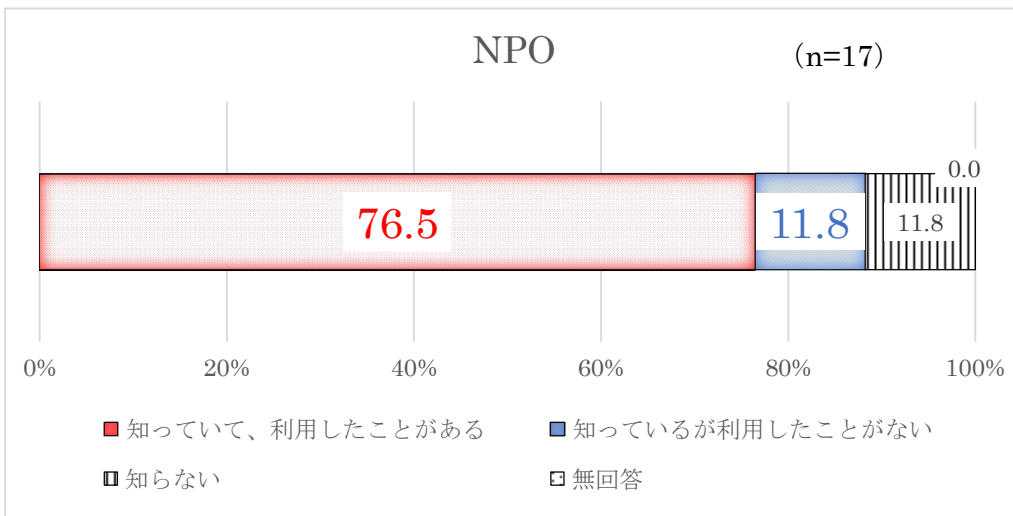
5

川西市市民活動センターについて

問20 川西市市民活動センターを知っていましたか。(〇は1つ)

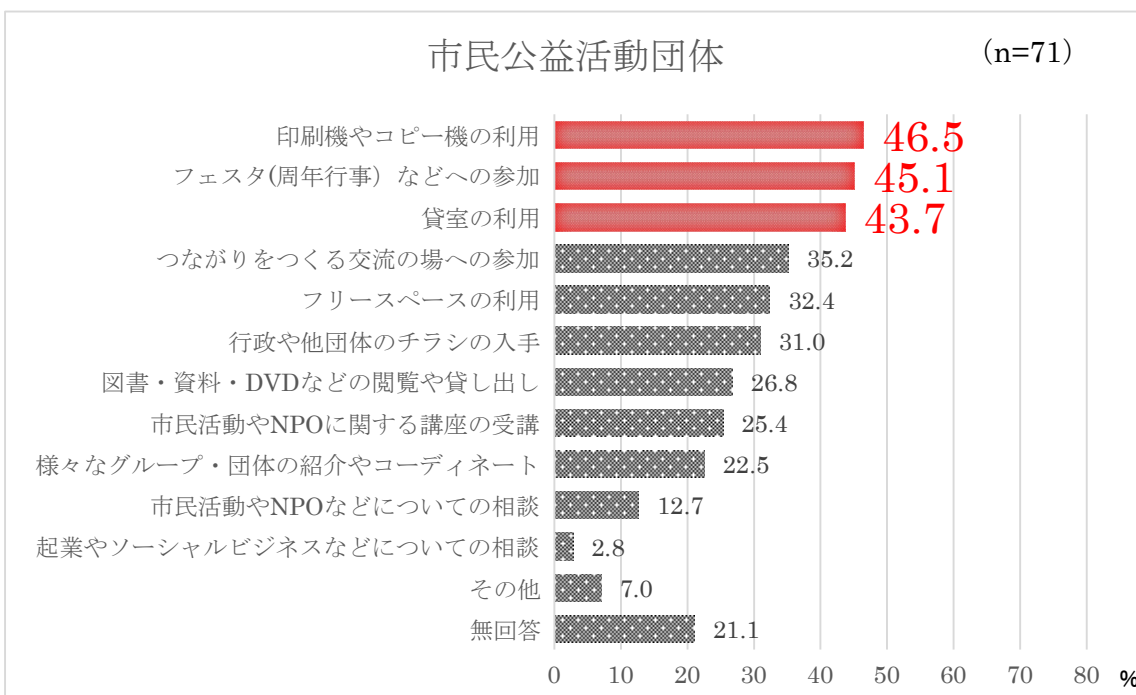
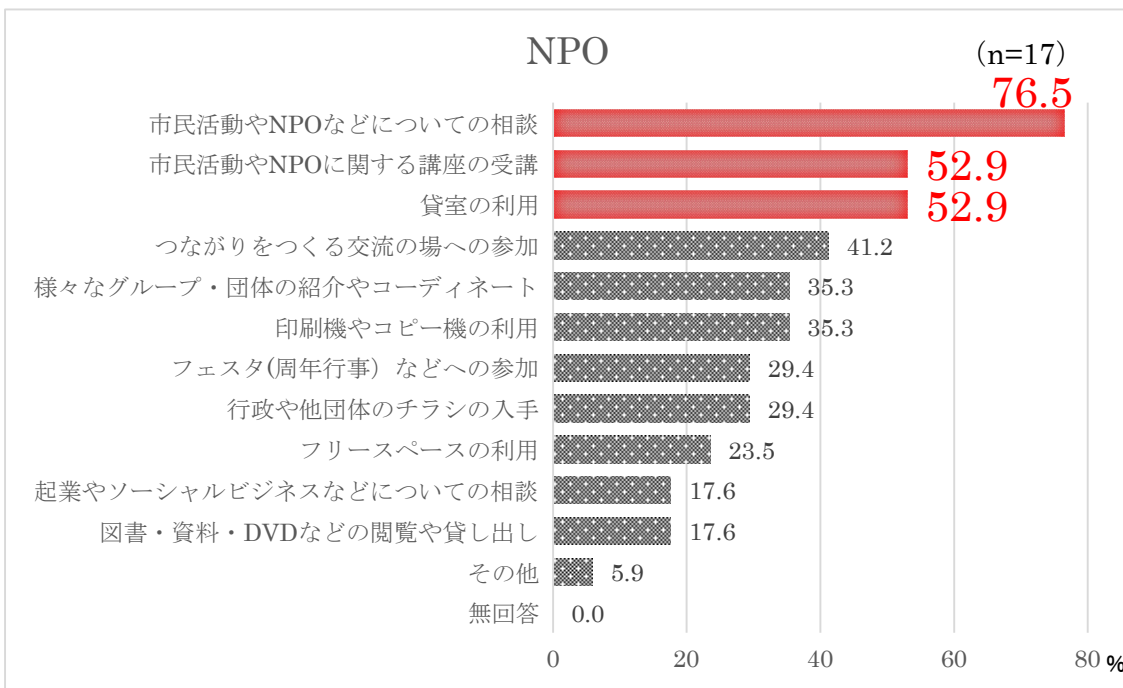
・NPOは9割弱の団体は知っており、そのうち8割弱の団体が利用されています。

・市民公益活動団体は8割強の団体は知っており、そのうち利用している団体は5割強にとどまっています。



問21 川西市市民活動センターで利用したことがある(利用してみたい)のは、どのようなものですか。(あてはまるものすべてに○)

- ・NPO では「市民活動やNPO などについての相談」が 76.5%と一番高く、次に「市民活動やNPO に関する講座の受講」、「貸室の利用」となっています。
- ・市民公益活動団体では「印刷機やコピー機の利用」が 46.5%と一番高く、次に「フェスタ(周年行事)などへの参加」「貸室の利用」が続いています。



自由記述

普段の活動についてのお考えや参画と協働のまちづくりに関するご意見などをご自由に記載してください。

(カッコ内は内訳)

(NPO、市民公益活動団体)

■行政との連携強化	25件(8件、17件)
・事業の広報活動	7 (1、6)
・活動支援の場提供	3 (1、2)
・市民活動センターの活用	3 (1、2)
・イベントの委託	2 (1、1)
・市民への理解促進	2 (2、0)
・協働事業の継続と促進	2 (1、1)
・市の方向性が不明瞭	2 (0、2)
・意見交換会の実施	1 (1、0)
・他事業との連携提供	1 (0、1)
・自己資金に対する補償	1 (0、1)
・資料の公開	1 (0、1)
■他の団体	2件(1件、1件)
・コミュニケーション強化	1 (0、1)
・V連での序列	1 (0、1)
■活動拠点	4件(0件、4件)
・交通の便、高齢者への配慮	2 (0、2)
・市民活動センターの手続きの簡素化	1 (0、1)
・環境に配慮を	1 (0、1)
■利用者	1件(0件、1件)
・対象者以外の利用者も	1 (0、1)
■その他	3件(0件、3件)
・活動の後継者不在	2 (0、2)
・寄り添い	1 (0、1)

III まとめ

1. 団体概要について

- ・活動年数については、NPO 団体は 10～20 年未満が一番多く、市民公益活動団体は 20 年以上が半数近く占めており、新しい団体は比較的少ないです。
- ・NPO、市民公益活動団体ともに多人数の団体は少数派となっています。
- ・活動資金については、NPO 団体は会費、寄付、助成金・補助金、事業収益がほぼ同じ割合となっています。一方、市民公益活動団体は会費が 87.3%を占めており、次に助成金・補助金となっています。

2. 活動内容について

- ・困っていることや課題と考えていることについては、NPO、市民公益活動団体共に「人材が足りない」「構成員が高齢化している」「団体の認知度が高まらない」が上位を占めています。
- ・行政からの支援が必要と考えるものは、NPO 団体は「活動資金が足りない」であり、次に「団体の認知度が高まらない」で、市民公益活動団体は「団体の認知度が高まらない」が一番多く、その次は「人材が足りない」です。

3. 市との協働について

- ・NPO、市民公益活動団体共にほぼ半数近くが市と協働して活動したことがあり、今後についても、NPO で 7 割、市民公益活動団体で 6 割弱の団体が協働して事業を行っていきたいと回答されており、理由については、「つながりたい」、「活動を広げたい」や「認知度を高めたい」となっています。

4. 地域や他の活動団体との関わりについて

- ・NPO は、他の NPO 団体と半数近くが交流があります。一方、市民公益活動団体は全く交流がない団体が 4 割近くにも上っています。今後については、6 割弱の団体が共に地域や他の活動団体と一緒に交流をしていきたいと回答しています。理由については、「つながりが広がる」、「新しい気づきの発見」、「地域貢献ができる」、「団体の認知につながる」、「社会問題の解決につながる」となっています。

5. 川西市市民活動センターについて

- ・NPO は 9 割弱の団体が知っており、そのうち 8 割弱の団体が利用されています。市民公益活動団体は 8 割強の団体は知っていましたが、そのうち利用している団体は 6 割強にとどまっています。
- ・NPO では利用したことがあるのが、「市民活動や NPO などについての相談」が 76.5%と一番高く、次に「市民活動や NPO に関する講座の受講」、「貸室の利用」が続いており、市民公益活動団体では「印刷機やコピー機の利用」が 46.5%と一番高く、次に「フェスタ(周年行事)などへの参加」「貸室の利用」が続いています。

「川西市参画と協働のまちづくり」 に関するアンケート

日頃より市政にご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

本市では、参画と協働による住みよいまちづくりを進めるため、平成30年3月に「第2期川西市参画と協働のまちづくり推進計画」(<https://www.city.kawanishi.hyogo.jp/kurashi/shimin/1001488/1001499.html>)を作成してこれまで取り組みを進めてきましたが、計画期間の終了に伴い、引き続き参画と協働の推進を図るため、計画の見直しを行うことといたしました。

このアンケート調査は、計画の見直しの基礎資料として、皆さまの意識や状況について把握するために実施するものです。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、アンケート調査の趣旨をご理解いただき、ご協力いただきますよう、お願い申し上げます。

令和4年8月

川西市長 越田 謙治郎

1. 調査対象

市内の NPO 法人

2. 回答方法

回答方法として、次の 2 通りをご用意しております。

A)調査票に直接ご記入いただき、同封の返信用封筒(切手不要)に入れて
最寄りのポストに投函

B)インターネットで以下の URL からアクセスまたは 2 次元コードを読み取って回答
<https://www.e-hyogo.elg-front.jp/hyogo/uketsuke/form.do?id=1658713474303>

令和4年8月16日(火)までにご返送お願いします

※インターネットでご回答いただく場合は郵送による回答は不要です。

3. 調査結果

調査結果は集計の上、川西市のホームページ(www.city.kawanishi.hyogo.jp)で公表します。

なお、各団体が特定できる情報は公表しません。

この調査票に記入された事柄を、調査の目的以外に使用することはありません。

4. お問い合わせ先

川西市 参画協働課 【TEL】072-740-1600 (月～金曜日 9:00～17:00)

【FAX】072-740-1322

【メール】kawa0197@city.kawanishi.lg.jp



(1) 団体の概要について

問1 活動年数を教えてください。(〇は1つ)

- 1 3年未満
- 2 3年～5年未満
- 3 5年～10年未満
- 4 10年～20年未満
- 5 20年以上

問2 会員数を教えてください。(〇は1つ)

- 1 20人未満
- 2 20人～50人未満
- 3 50人～100人未満
- 4 100人以上

問3 予算規模(令和3年度実績)を教えてください。(〇は1つ)

- 1 10万円未満
- 2 10万～50万円未満
- 3 50万～100万円未満
- 4 100万～300万円未満
- 5 300万～500万円未満
- 6 500万～1000万円未満
- 7 1,000万円以上

問4 活動資金をどのように確保されていますか。(あてはまるものに〇)

- 1 会費
- 2 寄付
- 3 助成金・補助金
- 4 事業収益
- 5 その他()

(2) 活動内容について

問5 活動分野を教えてください。(あてはまるものに○)

- 1 保健、医療又は福祉の増進を図る活動
- 2 社会教育の推進を図る活動
- 3 まちづくりの推進を図る活動
- 4 観光の振興を図る活動
- 5 農山漁村又は中山間地域の振興を図る活動
- 6 学術、文化、芸術又はスポーツの振興を図る活動
- 7 環境の保全を図る活動
- 8 災害救援活動
- 9 地域安全活動
- 10 人権の擁護又は平和の推進を図る活動
- 11 国際協力の活動
- 12 男女共同参画社会の形成の促進を図る活動
- 13 子どもの健全育成を図る活動
- 14 情報化社会の発展を図る活動
- 15 科学技術の振興を図る活動
- 16 経済活動の活性化を図る活動
- 17 職業能力の開発又は雇用機会の拡充を支援する活動
- 18 消費者の保護を図る活動
- 19 団体の運営又は活動に関する連絡、助言又は援助の活動
- 20 その他の活動

問6 具体的な活動内容を教えてください。

()

問7 今後の活動内容についてどのようにお考えですか。

()

(3) 市との協働について

ここでは貴団体と市との協働についてお尋ねします。

「協働」… 市民をはじめ、自治会、コミュニティ、ボランティア、NPO、事業者、市など様々なまちづくりの担い手が、それぞれの役割に基づき、お互いの立場を尊重し、地域の課題解決に向けて相互に補完し合うこと。

問10 市と協働したことがある、あるいは市と協働で実施している活動はありますか。 (○は1つ)

-
- 1 ある → 問11 ^
 - 2 ない → 問14 ^

問11 それはどのような活動ですか。

()

問12 市と協働されて、良かった点があれば教えてください。

()

問13 市と協働されて、難しかった点があれば教えてください。

()

問14 今後、市と協働を行っていききたい(行ったことがある場合を含めて)ですか。(○は1つ) 回答理由も教えてください。

-
- 1 はい
 - 2 いいえ
 - 3 どちらともいえない

理由 ()

(4) 地域や他の活動団体との関わりについて

問15 一緒に活動や交流している団体を教えてください。(あてはまるものすべてに○)

- | | | | |
|---|---------------------|---|--------|
| 1 | 自治会やコミュニティなどの地域活動団体 | } | 問16へ |
| 2 | 他のNPO団体 | | |
| 3 | ボランティア団体 | | |
| 4 | その他() | | |
| 5 | ない | | → 問19へ |

問16 それはどのような活動や交流ですか。

()

問17 地域や他の活動団体と一緒に活動や交流されて、良かった点があれば教えてください。

()

問18 地域や他の活動団体と一緒に活動や交流されて、難しかった点があれば教えてください。

()

問19 今後、地域や他の活動団体と一緒に活動や交流していきたい(行ったことがある場合を含めて)ですか。(○は1つ) 回答理由も教えてください。

- 1 はい
- 2 いいえ
- 3 どちらともいえない

理由 ()

(5) 川西市市民活動センターについて

「川西市市民活動センター」…複合施設「パレットかわにし」内の1階にあり市民グループやNPOの活動支援を行っています。(阪急川西能勢口駅近く)



市民活動センター
ホームページ

問20 川西市市民活動センターを知っていましたか。(○は1つ)

- 1 知っていて、利用したことがある
- 2 知っているが、利用したことがない
- 3 知らない

問21 川西市市民活動センターで利用したことがある(利用してみたい)のは、どのようなもので
すか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 市民活動やNPOなどについての相談
- 2 起業やソーシャルビジネスなどについての相談
- 3 様々なグループ・団体の紹介やコーディネート
- 4 市民活動やNPOに関する講座の受講
- 5 つながりをつくる交流の場への参加
- 6 フェスタ(周年行事)などへの参加
- 7 貸室の利用
- 8 フリースペースの利用
- 9 印刷機やコピー機の利用
- 10 図書・資料・DVDなどの閲覧や貸し出し
- 11 行政や他団体のチラシの入手
- 12 その他()

普段の活動についてのお考えや、参画と協働のまちづくりに関する
ご意見などを自由に記載してください。



お忙しいところ、アンケート調査にご協力いただきまして、ありがとうございました。
今後、市から活動について伺うことがあるかもしれません。
よろしければ、団体名、連絡先をご記入ください。よろしくお願いたします。

団体名 (ふりがな)	
連絡先	電 話： メー ル：

ご回答いただきましたアンケート調査用紙は、同封の返信用封筒（切手は不要です）に入れて、
8月16日（火）までにご返送いただきますようお願いいたします。

「川西市参画と協働のまちづくり」 に関するアンケート

日頃より市政にご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

本市では、参画と協働による住みよいまちづくりを進めるため、平成30年3月に「第2期川西市参画と協働のまちづくり推進計画」(<https://www.city.kawanishi.hyogo.jp/kurashi/shimin/1001488/1001499.html>)を作成してこれまで取り組みを進めてきましたが、計画期間の終了に伴い、引き続き参画と協働の推進を図るため、計画の見直しを行うことといたしました。

このアンケート調査は、計画の見直しの基礎資料として、皆さまの意識や状況について把握するために実施するものです。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、アンケート調査の趣旨をご理解いただき、ご協力いただきますよう、お願い申し上げます。

令和4年8月

川西市長 越田 謙治郎

1. 調査対象

市内の市民公益活動団体

2. 回答方法

回答方法として、次の2通りをご用意しております。

A) 調査票に直接ご記入いただき、同封の返信用封筒(切手不要)に入れて

最寄りのポストに投函

B) インターネットで以下の URL からアクセスまたは2次元コードを読み取って回答



令和4年8月16日(火)までにご返送お願いします

※インターネットでご回答いただく場合は郵送による回答は不要です。

3. 調査結果

調査結果は集計の上、川西市のホームページ(www.city.kawanishi.hyogo.jp)で公表します。

なお、各団体が特定できる情報は公表しません。

この調査票に記入された事柄を、調査の目的以外に使用することはありません。

4. お問い合わせ先

川西市 参画協働課 【TEL】072-740-1600 (月～金曜日 9:00～17:00)

【FAX】072-740-1322

【メール】kawa0197@city.kawanishi.lg.jp

(1) 団体の概要について

問1 活動年数を教えてください。(〇は1つ)

- 1 3年未満
- 2 3年～5年未満
- 3 5年～10年未満
- 4 10年～20年未満
- 5 20年以上

問2 会員数を教えてください。(〇は1つ)

- 1 10人未満
- 2 10人～20人未満
- 3 20人～50人未満
- 4 50人以上

問3 活動資金をどのように確保されていますか。(あてはまるものに〇)

- 1 会費
- 2 寄付
- 3 助成金・補助金
- 4 事業収益
- 5 その他 ()

(2) 活動内容について

問4 具体的な活動内容を教えてください。

[]

問5 今後の活動内容についてどのようにお考えですか。

[]

(3) 市との協働について

ここでは貴団体と市との協働についてお尋ねします。

「協働」… 市民をはじめ、自治会、コミュニティ、ボランティア、NPO、事業者、市など様々なまちづくりの担い手が、それぞれの役割に基づき、お互いの立場を尊重し、地域の課題解決に向けて相互に補完し合うこと。

問8 市と協働したことがある、あるいは市と協働で実施している活動はありますか。(〇は1つ)

- 1 ある → 問9 へ
- 2 ない → 問12 へ

問9 それはどのような活動ですか。

()

問10 市と協働されて、良かった点があれば教えてください。

()

問11 市と協働されて、難しかった点があれば教えてください。

()

問12 今後、市と協働を行っていききたい(行ったことがある場合を含めて)ですか。(〇は1つ) 回答理由も教えてください。

- 1 はい
- 2 いいえ
- 3 どちらともいえない

理由 ()

(4) 地域や他の活動団体との関わりについて

問13 一緒に活動や交流している団体を教えてください。(あてはまるものすべてに○)

- | | | | |
|---|---------------------|---|--------|
| 1 | 自治会やコミュニティなどの地域活動団体 | } | 問14へ |
| 2 | NPO 団体 | | |
| 3 | 他のボランティア団体 | | |
| 4 | その他 () | | |
| 5 | ない | | → 問17へ |

問14 それはどのような活動や交流ですか。

()

問15 地域や他の活動団体と一緒に活動や交流されて、良かった点があれば教えてください。

()

問16 地域や他の活動団体と一緒に活動や交流されて、難しかった点があれば教えてください。

()

問17 今後、地域や他の活動団体と一緒に活動や交流していきたい(行ったことがある場合を含めて)ですか。(○は1つ) 回答理由も教えてください。

- 1 はい
- 2 いいえ
- 3 どちらともいえない

理由 ()

(5) 川西市市民活動センターについて

「川西市市民活動センター」…複合施設「パレットかわにし」内の1階にあり市民グループやNPOの活動支援を行っています。(阪急川西能勢口駅近く)



市民活動センター
ホームページ

問18 川西市市民活動センターを知っていましたか。(○は1つ)

- 1 知っていて、利用したことがある
- 2 知っているが、利用したことがない
- 3 知らない

問19 川西市市民活動センターで利用したことがある(利用してみたい)のは、どのようなものですか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 市民活動やNPOなどについての相談
- 2 起業やソーシャルビジネスなどについての相談
- 3 様々なグループ・団体の紹介やコーディネート
- 4 市民活動やNPOに関する講座の受講
- 5 つながりをつくる交流の場への参加
- 6 フェスタ(周年行事)などへの参加
- 7 貸室の利用
- 8 フリースペースの利用
- 9 印刷機やコピー機の利用
- 10 図書・資料・DVDなどの閲覧や貸し出し
- 11 行政や他団体のチラシの入手
- 12 その他()

普段の活動についてのお考えや、参画と協働のまちづくりに関する
ご意見などを自由に記載してください。



お忙しいところ、アンケート調査にご協力いただきまして、ありがとうございました。
今後、市から活動について伺うことがあるかもしれません。
よろしければ、団体名、連絡先をご記入ください。よろしくお願いいたします。

団体名 (ふりがな)	
連絡先	電 話 : メー ル :

ご回答いただきましたアンケート調査用紙は、同封の返信用封筒（切手は不要です）に入れて、
8月16日（火）までにご返送いただきますようお願いいたします。